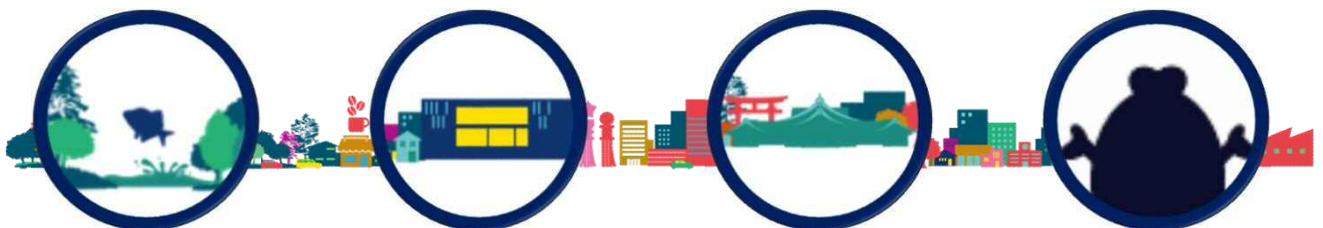




新しい一宮市総合計画(第8次)に係る 市民アンケート調査結果報告書

2026年2月

一宮市



目 次

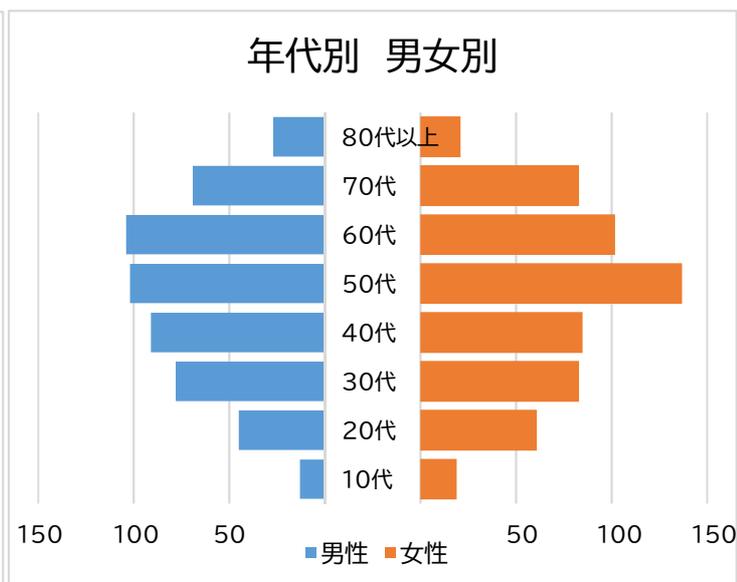
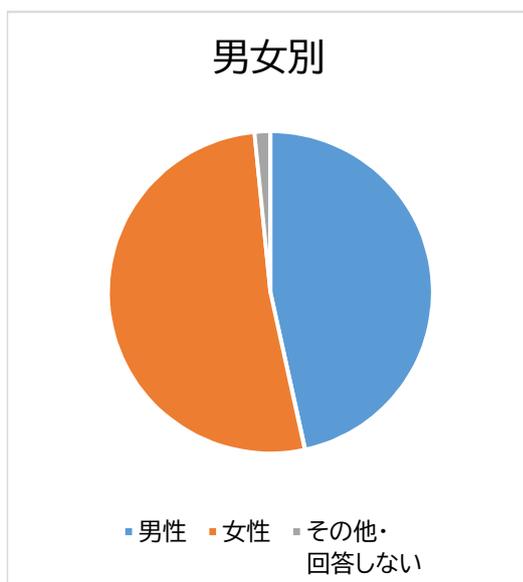
1. アンケートの概要	1
2. 年齢・性別	1
3. 居住エリア	2
4. 現在、一宮市に住むことになったきっかけ	3
5. 就労・就学の状況	5
6. 普段過ごす場所・日用品を買う場所	7
7. 「一宮市といえば」と聞かれて思い浮かべるもの	8
8. 一宮市への愛着	12
9. 「まちの姿」について	14
10. 年齢や、居住の経緯による「まちの姿」の違い	24
11. アンケート用紙	30

1. アンケートの概要

- ◆目的 市政運営の最上位計画である「総合計画」の次期計画(2028～2037年度)策定に先立ち、市民が一宮のまちにどんなイメージを持っていてどんなまちになってほしいと願っているか、またそれらに居住エリアや年代等による差はあるのか等を多面的に分析するため、アンケートを実施した。
- ◆対象 18歳以上の市民から4,000人を無作為に抽出
- ◆期間 2025年12月10日(水)～2026年1月5日(月)
- ◆手法 オンライン(LoGoフォーム)
- ◆回答 1,140名から回答を得た。(回答率:28.5%)

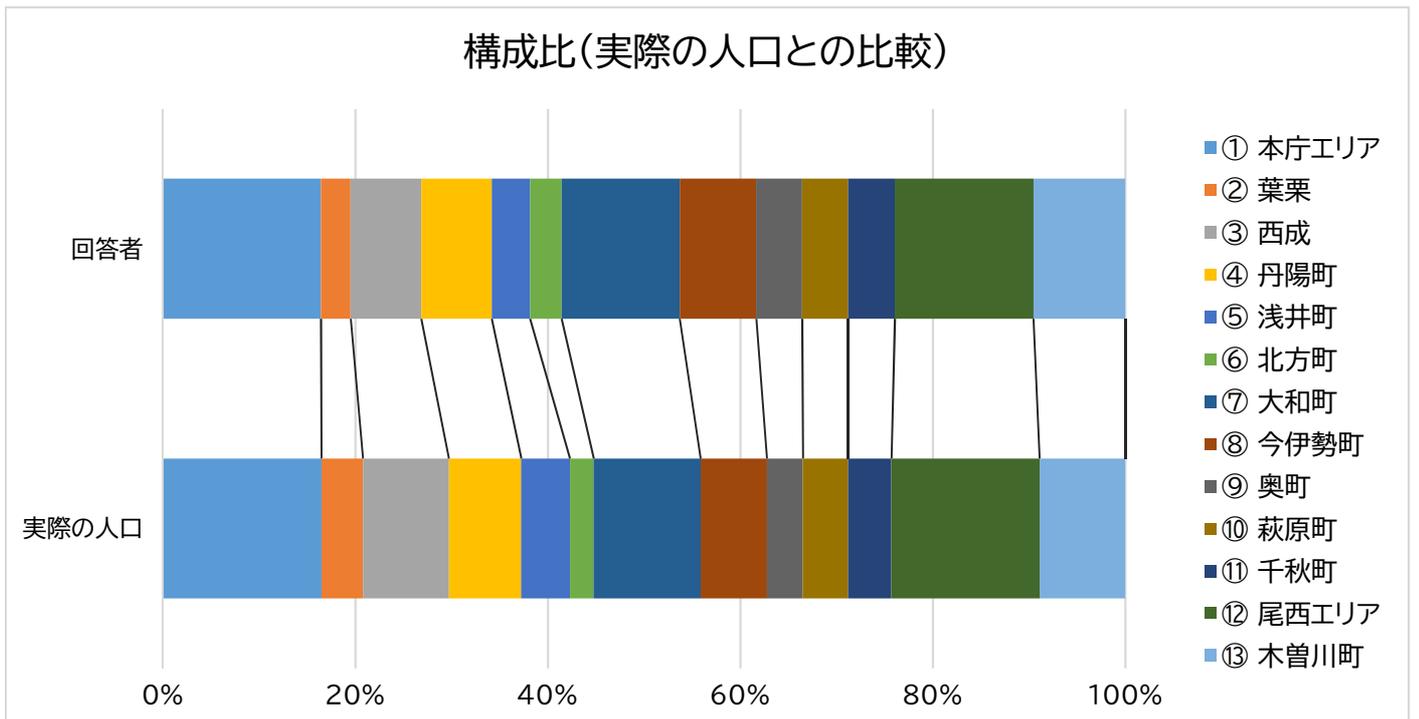
2. 年齢・性別

	男性	女性	その他・ 回答しない	小計	全体の 構成比	【参考】人口1,000人 あたりの回答数
10代	13	19	0	32	2.8%	4.3
20代	45	61	2	108	9.5%	2.9
30代	78	83	3	164	14.4%	4.2
40代	91	85	2	178	15.6%	3.8
50代	102	137	2	241	21.1%	3.9
60代	104	102	2	208	18.2%	4.8
70代	69	83	0	152	13.3%	3.3
80代以上	27	21	0	48	4.2%	1.2
回答しない	2	0	7	9	0.8%	
小計	531	591	18	1140	100.0%	3.6



3. 居住エリア

	年齢別									男女別			小計
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	回答しない	男性	女性	その他・回答しない	
① 本庁エリア	6	16	25	30	45	40	21	3	0	92	92	2	186
② 葉栗	0	6	1	3	11	8	5	1	0	21	14	0	35
③ 西成	2	5	10	9	21	15	13	8	0	42	40	1	83
④ 丹陽町	5	10	13	13	12	16	9	5	0	38	44	1	83
⑤ 浅井町	2	6	5	5	6	12	7	2	0	21	23	1	45
⑥ 北方町	1	1	5	8	6	7	8	1	0	21	16	0	37
⑦ 大和町	6	6	22	24	27	23	23	6	2	64	73	2	139
⑧ 今伊勢町	3	11	16	18	17	12	13	0	0	35	55	0	90
⑨ 奥町	2	4	6	10	12	10	7	3	0	27	27	0	54
⑩ 萩原町	1	8	6	3	14	5	13	3	1	18	34	2	54
⑪ 千秋町	1	8	10	6	13	9	5	2	1	28	27	0	55
⑫ 尾西エリア	1	14	26	28	37	27	20	8	2	74	85	4	163
⑬ 木曾川町	2	11	15	21	20	24	8	6	1	46	59	3	108
⑭ エリアはわからない	0	2	4	0	0	0	0	0	2	4	2	2	8



※10代は18・19歳を指す。(以降同じ)

※本庁エリアは宮西、貴船、神山、大志、向山、富士の各連区、尾西エリアは旧尾西市(起、小信中島、三条、大徳、朝日、開明の各連区)を指す。(以降同じ)

4. 現在、一宮市に住むことになったきっかけ

男女別	男性	女性	その他・回答しない	小計
生まれたときから	249	227	6	482
保護者が市内に住むことにしたので	36	37	1	74
進学を機に	0	2	0	2
就職・転職を機に(通勤のしやすさ)(※1)	66	45	3	114
結婚・出産などのライフイベントを機に(※2)	82	195	3	280
市内に住宅を購入したので(※3)	73	67	5	145
退職を機に(※4)	4	2	0	6
親・親族の介護等を機に(※5)	12	10	0	22
その他	9	6	0	15

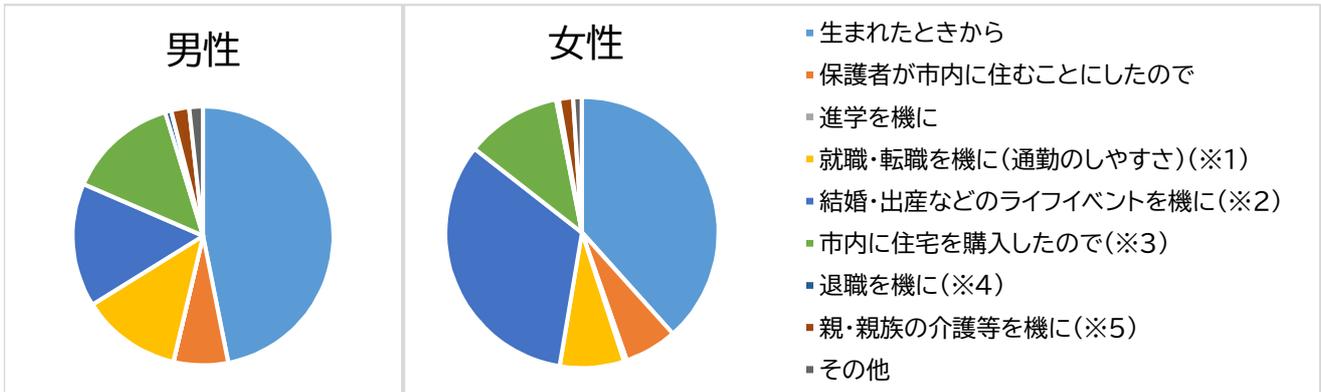
※1 転勤を含む、またいずれも配偶者等のイベントを含む

※2 同棲、離婚を含む

※3 賃借、自身等が所有の土地への建築を含む

※4 配偶者等のイベントを含む

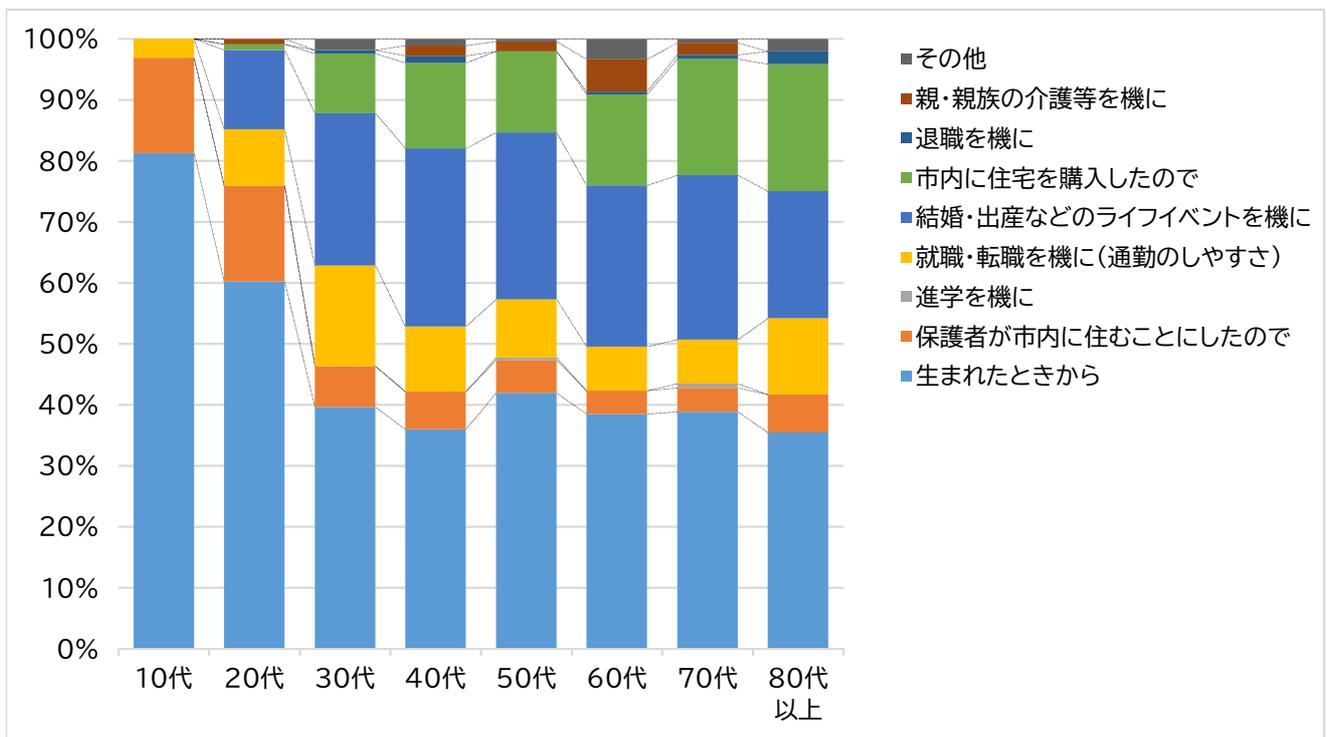
※5 介護を伴わない高齢親族との同居を含む



【分析・補足】

- ・「就職・転職」では、配偶者の転職や転勤を理由とする女性がいた(男性はなし)
- ・「ライフイベント」は、10代を除きすべての年代で女性が男性を上回った
特に20代、50～70代では、男女間で倍以上の開きがあった
- ・「その他」は、戦争疎開、被災、相続など
- ・「Uターン移住」をどの程度含むかは、このアンケートではわからないため注意

年齢別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	回答しない
生まれたときから	26	65	65	64	101	80	59	17	5
保護者が市内に住むことにしたので	5	17	11	11	13	8	6	3	0
進学を機に	0	0	0	0	1	0	1	0	0
就職・転職を機に(通勤のしやすさ)	1	10	27	19	23	15	11	6	2
結婚・出産などのライフイベントを機に	0	14	41	52	66	55	41	10	1
市内に住宅を購入したので	0	1	16	25	32	31	29	10	1
退職を機に	0	0	1	2	0	1	1	1	0
親・親族の介護等を機に	0	1	0	3	4	11	3	0	0
その他	0	0	3	2	1	7	1	1	0



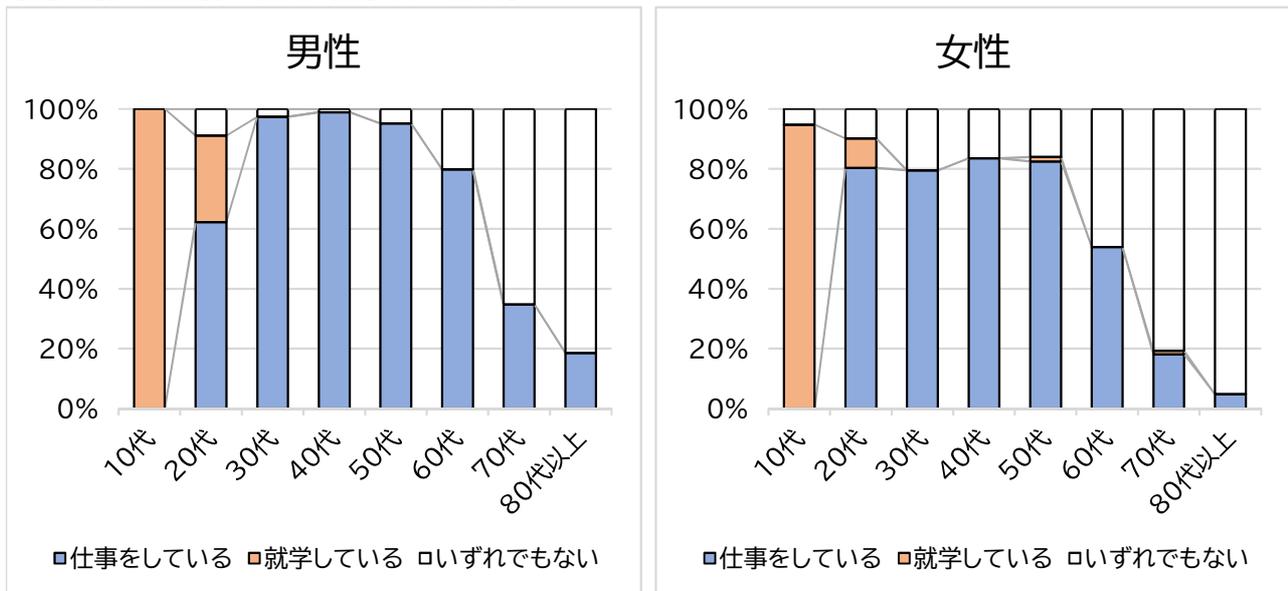
エリア別	① 本庁エリア	② 葉栗	③ 西成	④ 丹陽町	⑤ 浅井町	⑥ 北方町	⑦ 大和町	⑧ 今伊勢町	⑨ 奥町	⑩ 萩原町	⑪ 千秋町	⑫ 尾西エリア	⑬ 木曾川町	⑭ エリア不明
生まれたときから	78	16	41	37	19	16	43	29	22	29	20	83	46	3
保護者が市内に住むことにしたので	15	2	3	2	4	2	9	6	3	6	4	12	5	1
進学を機に	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
就職・転職を機に(通勤のしやすさ)	27	4	6	11	2	3	16	17	3	2	5	9	7	2
結婚・出産などのライフイベントを機に	41	9	17	18	9	11	42	23	12	14	13	36	34	1
市内に住宅を購入したので	18	2	13	12	7	3	25	13	11	3	12	15	11	0
退職を機に	1	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0
親・親族の介護等を機に	3	2	1	1	2	0	2	2	1	0	1	4	3	0
その他	2	0	2	1	2	0	1	0	2	0	0	3	1	1

一宮市内のみ住んだことがある住民が多いエリア	⑩ 萩原町	53.7%	一宮市外に住んだことがある住民が多いエリア	⑦ 大和町	69.1%
	⑫ 尾西エリア	50.9%		⑧ 今伊勢町	67.8%
	③ 西成	49.4%		⑪ 千秋町	63.6%

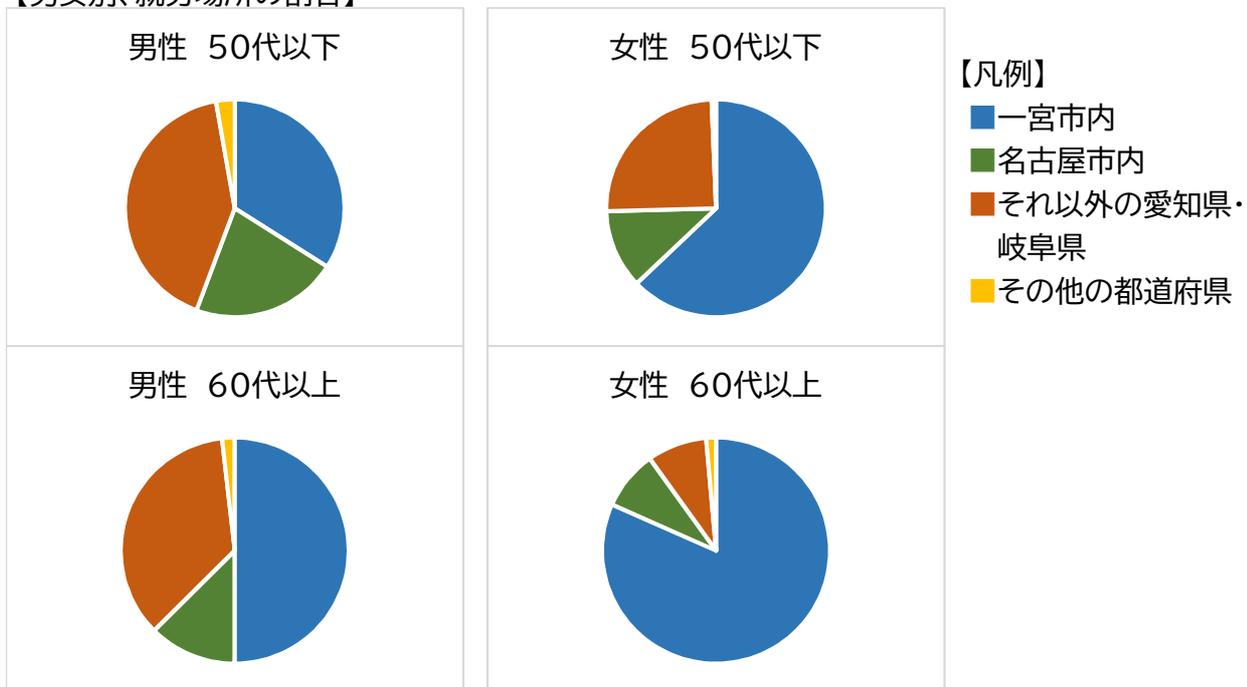
5. 就労・就学の状況

		場所別の内訳			
		一宮市内	名古屋市内	それ以外の愛知県・岐阜県	その他の都道府県
仕事をしている	786	405	119	248	14
就学している	56	18	20	14	4
いずれでもない	298				

【男女別、年齢別の就労・就学者の割合】



【男女別、就労場所の割合】



【分析・補足】

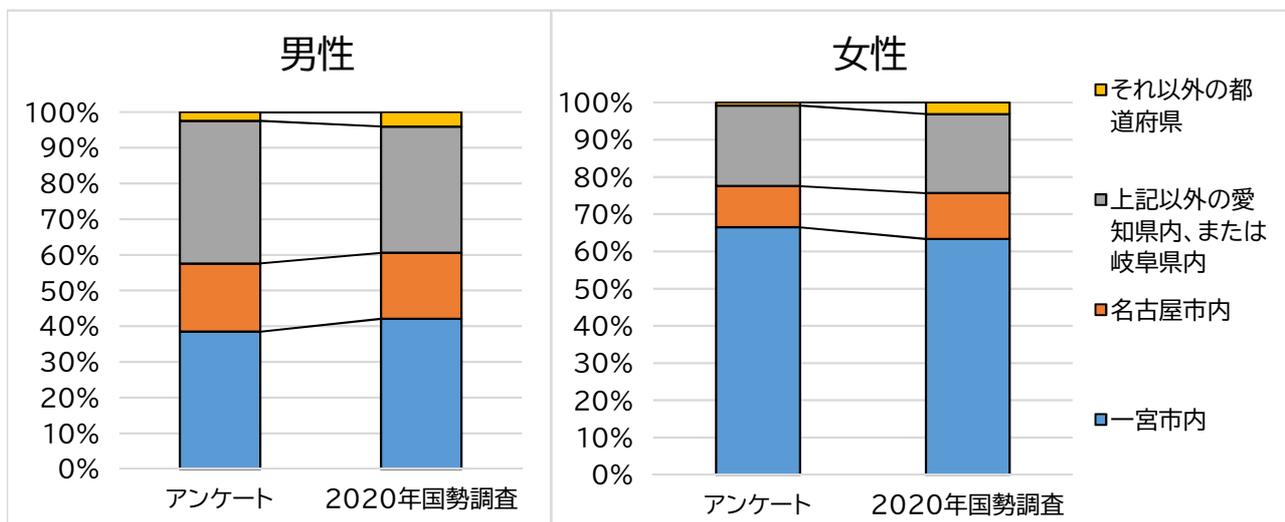
- ・男性の市内就労の割合は、40代を底に、70代と80代以上を除き50%を下回る
- ・女性の市内就労の割合は、いずれの年齢区分も50%を上回り、20代からピークの60代(80%超)に向け一次関数的に上昇
- ・「市外に通勤する夫と、市内勤務(パート等)や主婦に切り替える妻」が一つのモデルケースと言える

	一宮市内	名古屋市内	左記以外の愛知・岐阜県内	それ以外の都道府県
① 本庁エリア	44.8%	25.5%	26.9%	2.8%
② 葉栗	47.8%	4.3%	43.5%	4.3%
③ 西成	51.9%	9.3%	37.0%	1.9%
④ 丹陽町	41.0%	11.5%	47.5%	0.0%
⑤ 浅井町	62.5%	9.4%	28.1%	0.0%
⑥ 北方町	42.3%	11.5%	46.2%	0.0%
⑦ 大和町	49.5%	20.6%	26.8%	3.1%
⑧ 今伊勢町	60.0%	24.6%	15.4%	0.0%
⑨ 奥町	56.1%	17.1%	24.4%	2.4%
⑩ 萩原町	67.6%	8.8%	20.6%	2.9%
⑪ 千秋町	38.1%	14.3%	47.6%	0.0%
⑫ 尾西エリア	55.4%	12.3%	30.0%	2.3%
⑬ 木曾川町	45.9%	14.1%	35.3%	4.7%

【分析・補足】

- ・名古屋市への通勤、通学が多いのは、本庁、今伊勢町、大和町の順
→一宮駅に近い、乗り継ぎが至便なエリア
- ・名古屋市以外の他の自治体(愛知・岐阜県内)への通勤、通学が多いのは、千秋町、丹陽町、北方町の順
→本庁エリアから遠く、他の自治体と接しているエリア

【参考】就労・就学場所の国勢調査との比較



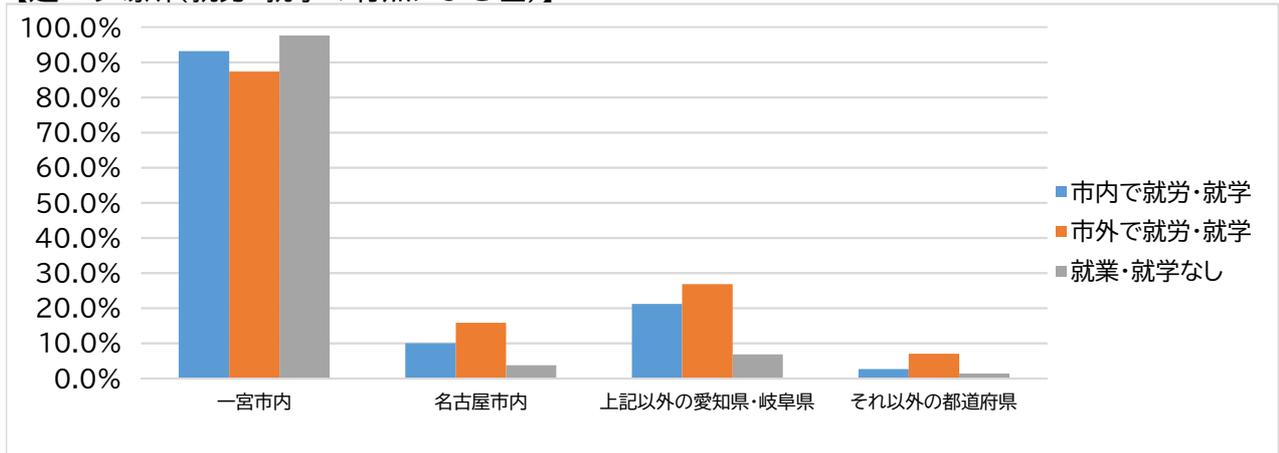
※国勢調査は15歳以上

6. 普段過ごす場所・日用品を買う場所

	就労・就学以外で過ごす場所	日用品の買い物をする場所
一宮市内	1,051 (92.2%)	945 (82.9%)
名古屋市内	120 (10.5%)	170 (14.9%)
上記以外の愛知県・岐阜県	223 (19.6%)	308 (27.0%)
それ以外の都道府県	44 (3.9%)	25 (2.2%)

※ いずれも複数選択可のため、合計は100%を超過する

【過ごす場所(就労・就学の有無による差)】



【分析・補足】

- ・一宮市内で就労、就学している者は、それ以外で過ごす場所も市内の割合が高い
- ・就労も就学もしていない者は、している者に対して圧倒的に市外で過ごしている割合が低い
→相対的に高齢者の割合が高いことも影響しているとみられる

【就労・就学場所×日用品の買い物場所】

就労等場所 \ 買い物場所	一宮市内	名古屋市内	上記以外の愛知県・岐阜県	それ以外の都道府県
一宮市内	87.9%	13.0%	27.4%	1.7%
名古屋市内	72.7%	32.4%	21.6%	1.4%
上記以外の愛知県・岐阜県	77.1%	13.4%	35.9%	1.9%
それ以外の都道府県	61.1%	16.7%	11.1%	22.2%

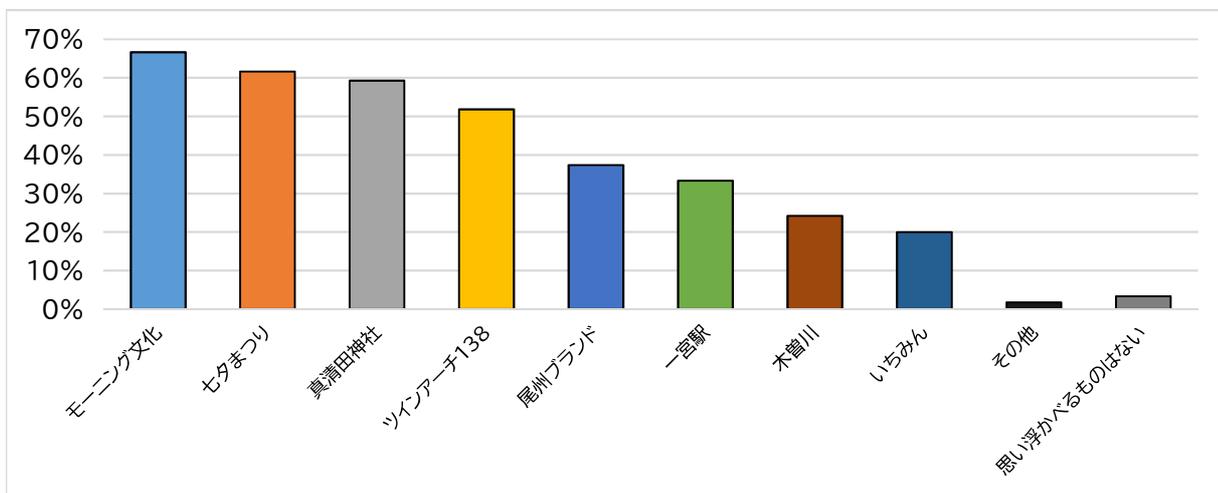
【分析・補足】

- ・就労や就学をしている場所で日用品を買う割合は、全体平均に比べ約5～20ポイント高い
→通勤、通学途中や帰宅途中で、一定程度の買い物需要があるといえる

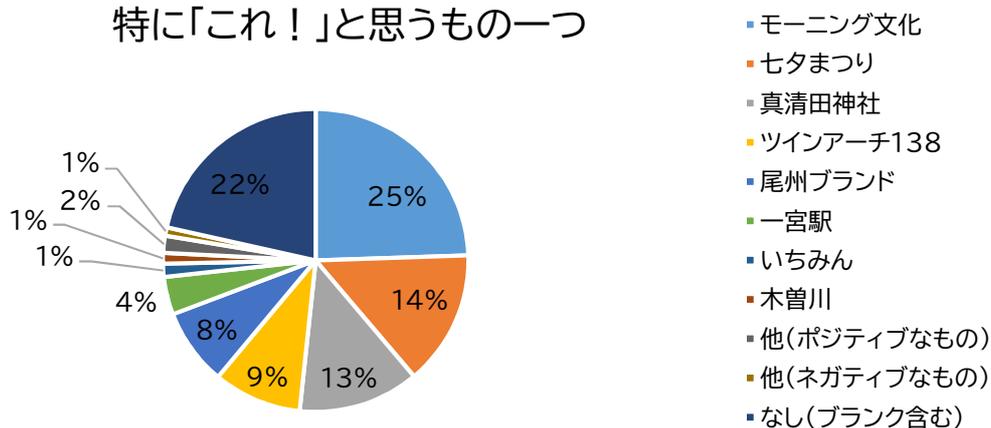
7. 「一宮市といえば」と聞かれて思い浮かべるもの

あらかじめ政策課で設定した8つのコンテンツから選択(複数選択可)

尾州ブランド(世界三大毛織物産地の一つ)	37.4%
木曽川(一級河川の清流)	24.2%
モーニング文化	66.7%
七夕まつり(日本三大七夕祭の一つ)	61.7%
ツインアーチ138	51.8%
いちみん(市公式キャラクター)	20.0%
一宮駅(i-ビル、イチ*ビル、鉄道線など)	33.3%
真清田神社(尾張国の一の宮)	59.3%
思い浮かべるものはない	3.3%
その他	1.8%



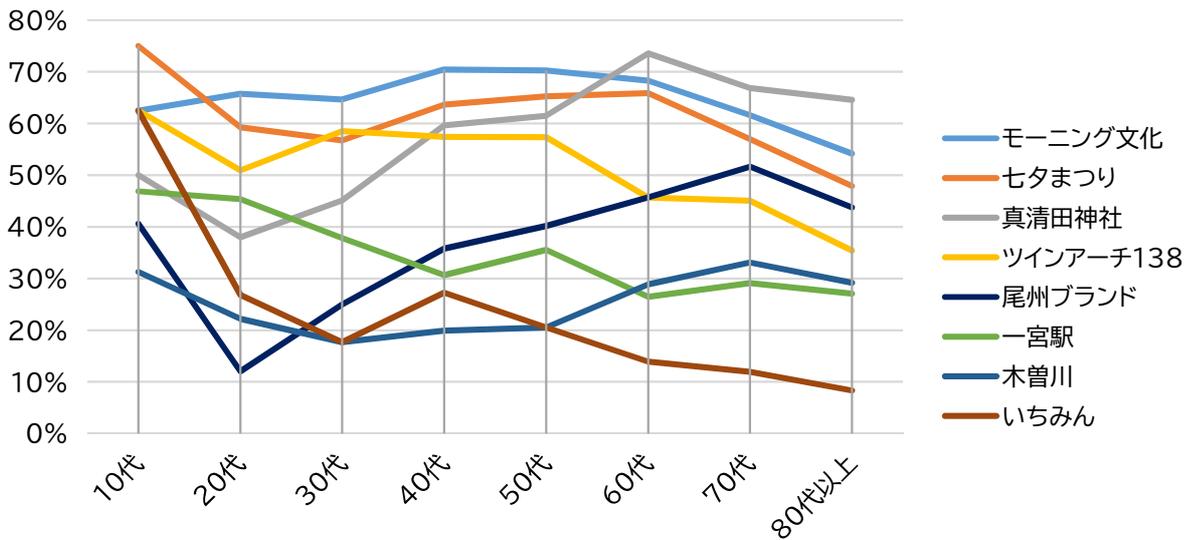
特に「これ!」と思うもの一つ



【分析・補足】

- ・複数選択では上位3つは僅差であったが、1つだけの記述ではモーニングが圧勝
- ・中位3つの中では、尾州が健闘、ただ年代別の傾向からすると、「昔すごかった」記憶によるか
- ・いちみんは1つだけの記述では木曽川より多く、根強いファンがいるとみられる
- ・この設問は任意記載ということもあり、約20%が「空欄」、強力コンテンツは不在か

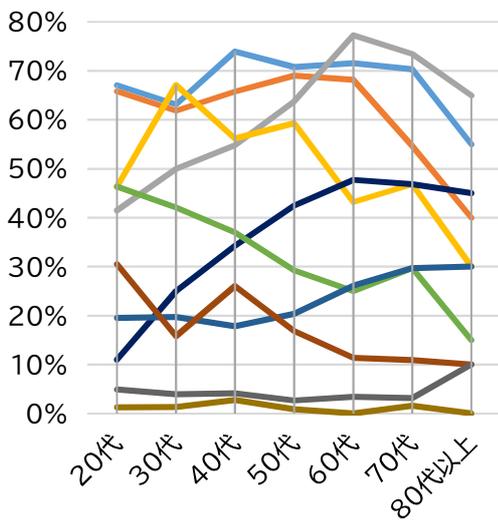
年代別「一宮市といえば」で選んだもの(複数選択可)



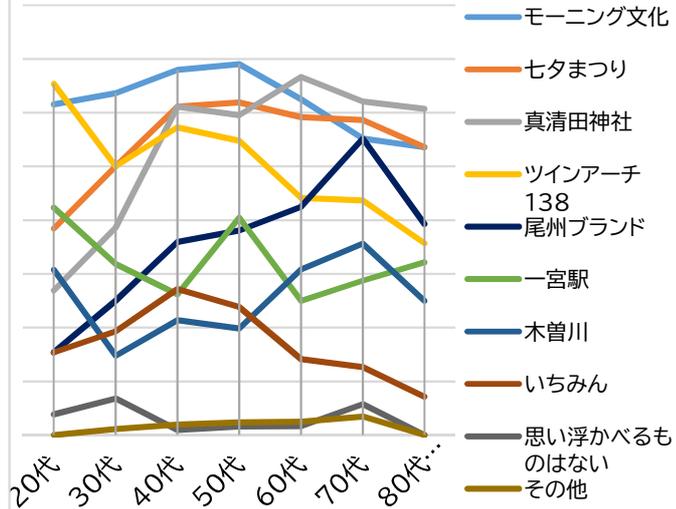
【分析・補足】

- ・全体的に、20～30代で割合が低くなる傾向
- ・モーニングは全年代で50%以上が選択、七夕といちみんは10代で特に高い
- ・真清田神社は高年齢ほど高く、一宮駅は高年齢ほど低くなる傾向
- ・尾州も高年齢ほど高くなるが、10代も高い
- ・ツインアーチは家族連れで行った経験が多いと思われる50代以下で高め
- ・木曽川はいずれの年代でも6位以下となった

幼少期以前から継続して市民



大人になってから転入した市民



【分析・補足】

- ・「幼少期以前から」は、「生まれたときから」「保護者が住むことにした」の合算、「大人になってから」は、それ以外のうち「その他」を除いた合算
- ・10代はほぼ「幼少期以前から」しかいないため省略
- ・20代は、転入組はツインアーチが高く七夕が低い
- ・尾州は、20代ではどちらも同程度に低い、10代では高かったもので、社会科で習ったか否かは無関係とみられる

「一宮市といえば」で思い浮かべるもの・エリア別(それぞれ上位3つ)

	1位		2位		3位	
① 本庁エリア	七夕まつり	71.0%	モーニング文化	68.8%	真清田神社	67.7%
② 葉栗	ツインアーチ138	77.1%	モーニング文化	71.4%	七夕まつり 真清田神社	60.0%
③ 西成	モーニング文化	68.7%	真清田神社	67.5%	ツインアーチ138	57.8%
④ 丹陽町	モーニング文化	61.4%	七夕まつり	59.0%	真清田神社	54.2%
⑤ 浅井町	モーニング文化	80.0%	ツインアーチ138	73.3%	七夕まつり	62.2%
⑥ 北方町	モーニング文化 ツインアーチ138 真清田神社	64.9%				
⑦ 大和町	モーニング文化	69.8%	七夕まつり	66.9%	真清田神社	64.7%
⑧ 今伊勢町	モーニング文化 七夕まつり	68.9%			真清田神社	63.3%
⑨ 奥町	七夕まつり	59.3%	真清田神社	57.4%	ツインアーチ138	51.9%
⑩ 萩原町	モーニング文化	63.0%	七夕まつり	57.4%	ツインアーチ138	48.1%
⑪ 千秋町	モーニング文化	76.4%	真清田神社	61.8%	七夕まつり ツインアーチ138	58.2%
⑫ 尾西エリア	モーニング文化	64.4%	七夕まつり	57.1%	真清田神社	48.5%
⑬ 木曽川町	モーニング文化	62.0%	真清田神社	57.4%	七夕まつり ツインアーチ138	55.6%

【分析・補足】

- ・モーニングは奥町の4位以外はすべて2位以上
- ・七夕は西成と北方町が4位で、西成が全エリアで最も低い割合
- ・真清田神社は萩原町、尾西を除き50%以上
- ・ツインアーチは葉栗、浅井町で70%超、北方町でも1位と「近場」で上位
- ・尾州は高い順に、大和町、尾西、萩原町、木曽川町と、特に繊維が盛んだった西側エリアで高い
- ・一宮駅は高い順に、大和町、今伊勢町、本庁と、「路線直結エリア」で高い割合
- ・木曽川は、40%超の木曽川町を筆頭に、浅井町、北方町、尾西で30%以上の割合
- ・いちみんは30%を超えたエリアはなし

特に「これ！」と思うもの・男女別

	1位		2位		3位	
男性	モーニング文化	20.0%	七夕まつり	14.7%	真清田神社	13.7%
女性	モーニング文化	28.4%	七夕まつり	13.7%	真清田神社	12.4%

【分析・補足】

- ・男女とも全体順位と同じであった
- ・尾州、一宮駅は男性の方が割合が高く、ツインアーチ、いちみん、木曽川は女性の方が割合が高い
- ・「なし、空欄」は男性の方が5ポイントほど高い

特に「これ！」と思うもの・年齢別(それぞれ上位3つ)

	1位		2位		3位	
10代	七夕まつり	31.3%	モーニング文化	25.0%	ツインアーチ138	15.6%
20代	モーニング文化	30.6%	七夕まつり	12.0%	ツインアーチ138 一宮駅	8.3%
30代	モーニング文化	29.9%	七夕まつり	14.6%	ツインアーチ138	13.4%
40代	モーニング文化	29.2%	七夕まつり	15.7%	ツインアーチ138	11.8%
50代	モーニング文化	24.5%	真清田神社	18.7%	七夕まつり	13.7%
60代	モーニング文化	20.7%	真清田神社	18.3%	七夕まつり	15.9%
70代	モーニング文化	17.8%	真清田神社	15.8%	七夕まつり	10.5%
80代以上	尾州	20.8%	真清田神社	16.7%	モーニング文化	12.5%

【分析・補足】

- ・20～40代では、モーニングが2位の七夕にダブルスコア
- ・ツインアーチは10、30、40代で、真清田神社は40代以上で10%以上が選択
- ・尾州は60代と80代以上で10%以上が選択
- ・「なし、空欄」は10代で3位より少なく、70代、80代以上では1位より多かった

特に「これ！」と思うもの・エリア別

	1位		2位		3位	
①本庁	真清田神社	21.0%	モーニング文化	20.4%	七夕まつり	18.3%
②葉栗	モーニング文化	31.4%	七夕まつり	14.3%	ツインアーチ138 一宮駅	8.6%
③西成	モーニング文化	24.1%	真清田神社	20.5%	ツインアーチ138	12.0%
④丹陽町	真清田神社	18.1%	モーニング文化	14.5%	ツインアーチ138	13.3%
⑤浅井町	モーニング文化	24.4%	真清田神社	15.6%	ツインアーチ138	11.1%
⑥北方町	ツインアーチ138	21.6%	モーニング文化 七夕まつり	16.2% 16.2%		
⑦大和町	モーニング文化	28.1%	七夕まつり	18.0%	真清田神社	11.5%
⑧今伊勢町	モーニング文化	25.6%	七夕まつり	15.6%	ツインアーチ138	12.2%
⑨奥町	モーニング文化	16.7%	七夕まつり ツインアーチ138	14.8% 14.8%		
⑩萩原町	モーニング文化	25.9%	七夕まつり	14.8%	真清田神社	11.1%
⑪千秋町	モーニング文化	43.6%	真清田神社	9.1%	七夕まつり	7.3%
⑫尾西	モーニング文化	24.5%	七夕まつり	13.5%	尾州	11.0%
⑬木曾川町	モーニング文化	28.7%	ツインアーチ138	16.7%	七夕まつり	13.9%

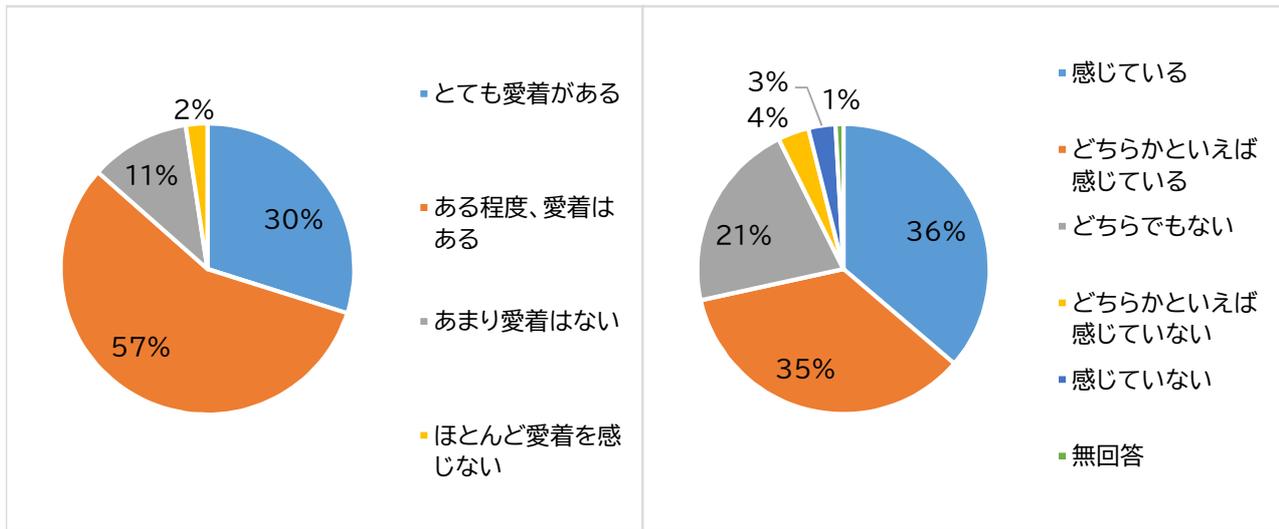
【分析・補足】

- ・モーニングは全エリアで2位以上、特に千秋町で圧倒的に多いのは養鶏の影響か
- ・七夕はエリア別では開催地の本庁が1位、西成を筆頭に遠方で割合や順位が低め
- ・真清田神社も鎮座地の本庁がエリア別で1位、2位は西成(七夕とは異なる傾向)
- ・ツインアーチは北方町がエリア別で1位、「といえば」で上位の葉栗や浅井町は意外に伸びず
- ・尾州は奥町、尾西が上位、こちらも「といえば」で上位の萩原町で伸びず
- ・一宮駅は、葉栗や千秋町などの「バス直結エリア」で割合が高め、北方町は0票
- ・いちみんは丹陽町で唯一の5%超
- ・木曾川は、濃尾大橋や花火大会で親しみのある尾西が多く、旧一宮市は全体で2票(0.2%)

8. 一宮市への愛着度

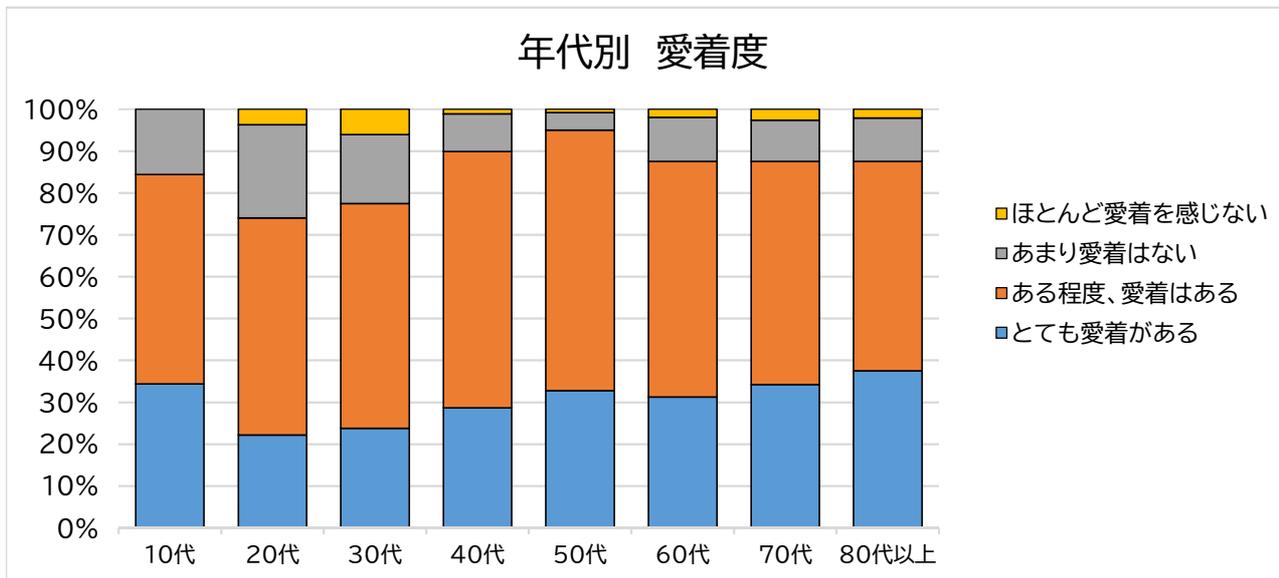
	人数	構成比
とても愛着がある	341	29.9%
ある程度、愛着はある	646	56.7%
あまり愛着はない	126	11.1%
ほとんど愛着を感じない	27	2.4%

【左】今回の愛着度の調査、【右】7次総策定時の同様の調査(2015年10～11月実施)



【分析・補足】

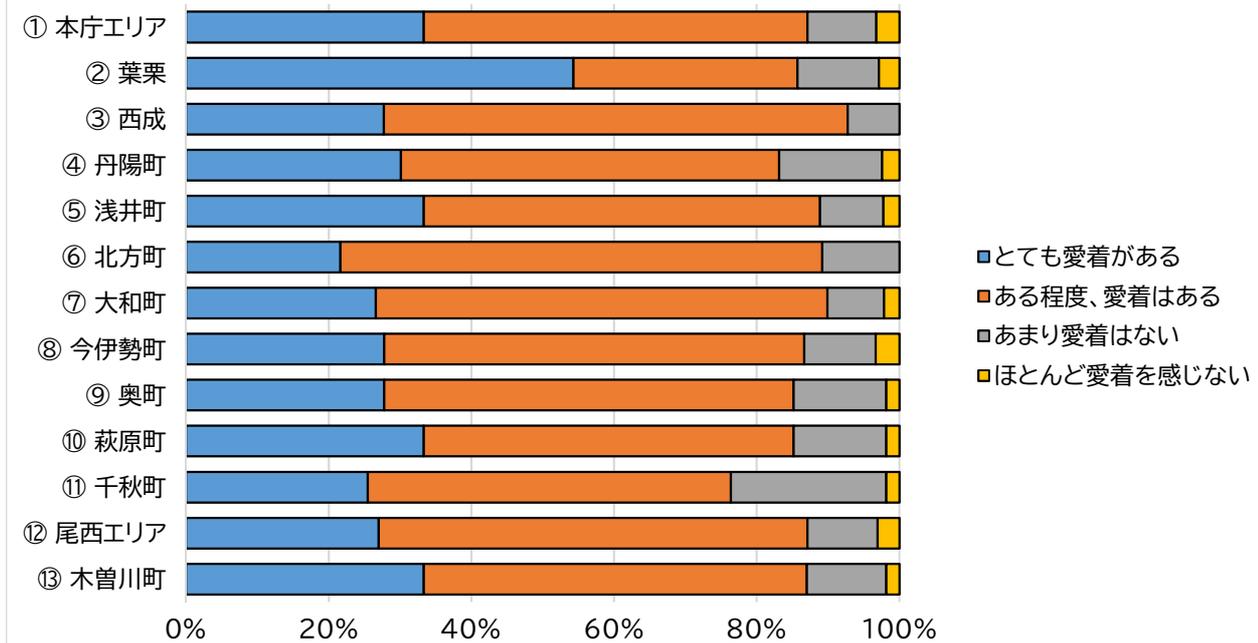
・選択肢の数、選択肢における聞き方に違いがあるため単純比較はできないが、概ね同様の傾向である



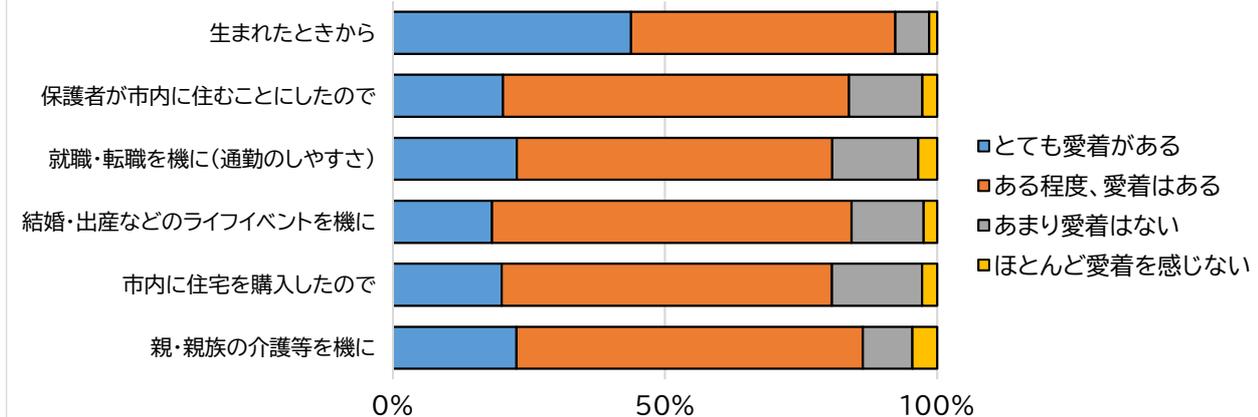
【分析・補足】

・「とても愛着がある」は、概ね20代から年齢とともに右肩上がりである
 ・総合戦略での調査「住み続けたいと思うか」では、30～50代がやや低く、60代以上は年齢が上昇するごとに「住み続けたい」が増えており、異なる傾向を示している
 ・総合戦略の調査で30～50代が低いのは、リタイア後に故郷に帰る、リタイア後はより利便性の高い地域への移住を検討している、などの理由が考えられる

エリア別 愛着度



一宮市に住む経緯別 愛着度



【分析・補足】

- ・「とても愛着がある」は葉栗が突出して高い(母数が35と少なく、連区全体の傾向かは不明)
- ・愛着のない割合が高いのは、千秋町、丹陽町、萩原町、奥町と、市中心部から遠いところが多い
- ・経緯別では、「生まれたときから＝市外に出たことがない」人の愛着度が特に高く、それ以外(＝一度でも市外に住んだことがある)人は、経緯による特徴的な傾向は見られず

9.「まちの姿」について

【設問】

2025年10月26日(日)並びに11月2日(日)に開催したワークショップ及び9月25日(木)から10月31日(金)まで実施したウェブ調査で、「〇〇が△△なまち」という形式で「期待する10年後の一宮市のイメージ」として398の意見を得た。

これを69のまちの姿に再編し「現在の一宮市での暮らし」「2037年やその先の一宮市の姿」それぞれについて尋ねた。

【選択肢】

以下の3択で、それぞれ尋ねた。

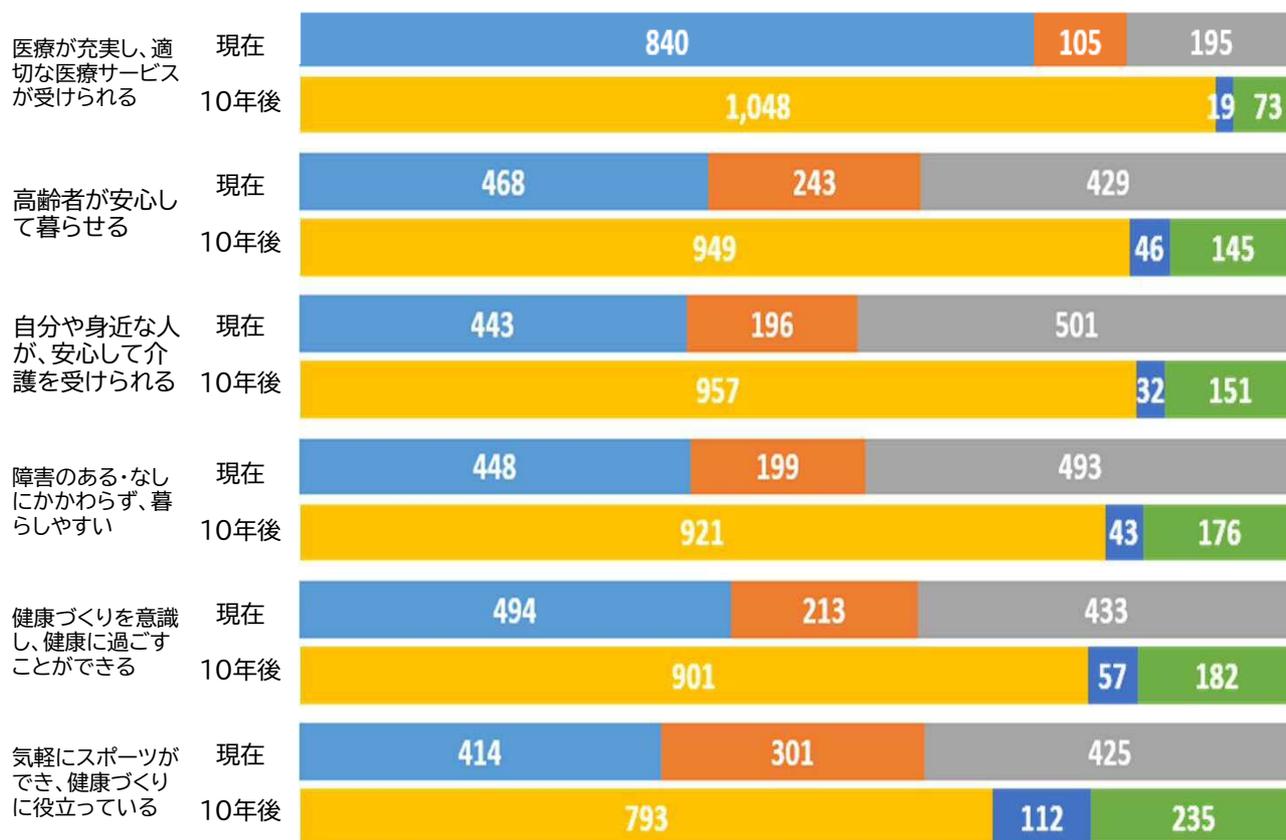
「現在の一宮市での暮らし(以下、「現在」と表記)」

- あてはまる・ややあてはまる (以下、「あてはまる」と表記)
- あてはまらない・あまりあてはまらない (以下、「あてはまらない」と表記)
- どちらともいえない・わからない (以下、「不詳」と表記)

「2037年やその先の一宮市の姿(以下、「将来(10年後)」と表記)」

- 重要だ・やや重要だ (以下、「重要だ」と表記)
- 重要ではない・あまり重要ではない (以下、「重要でない」と表記)
- どちらともいえない・わからない (以下、「不詳」と表記)

医療・福祉・健康



現在の状況

■ あてはまる

■ あてはまらない

■ 不詳

将来(10年後)の姿

■ 重要だ

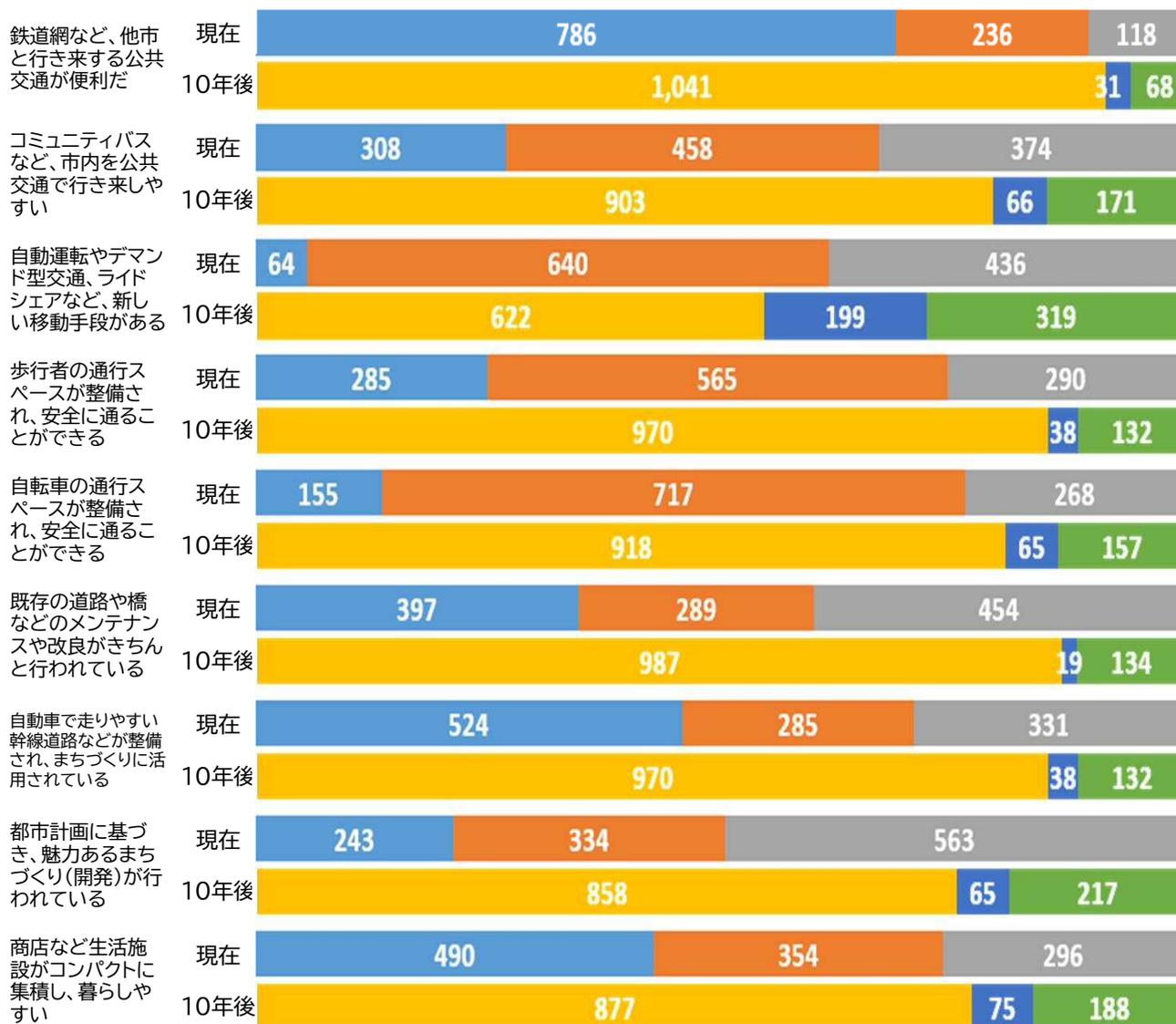
■ 重要でない

■ 不詳

【傾向】

・いずれの項目も、将来(10年後)は重要と考えている人が多い一方で、現在の評価は、医療を除いてあまり高くない

インフラ・交通・道路



現在の状況

■ あてはまる ■ あてはまらない ■ 不詳

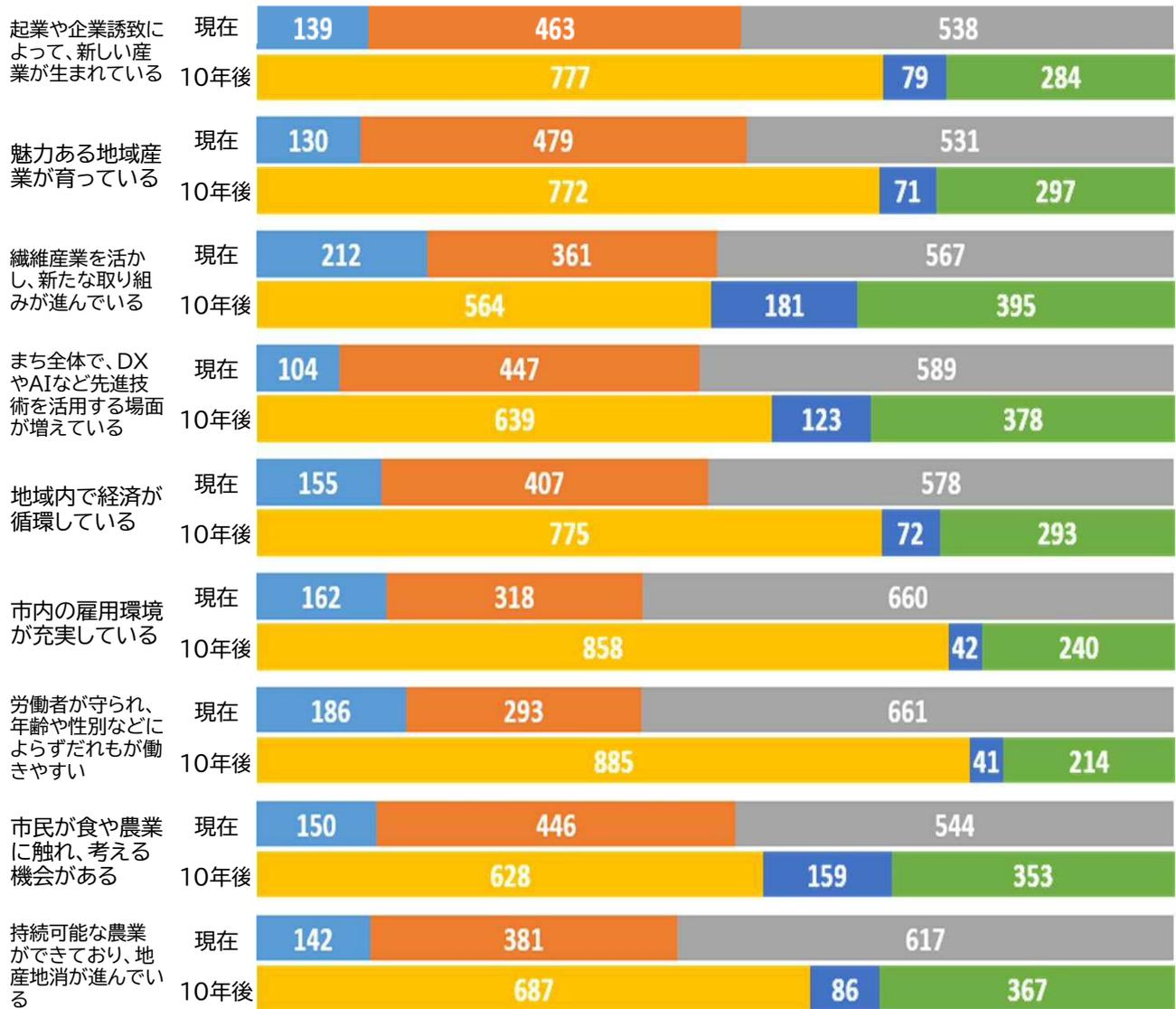
将来(10年後)の姿

■ 重要だ ■ 重要でない ■ 不詳

【傾向】

- ・総じて将来(10年後)の重要度は高いが、現在の評価が割れている
- ・歩行者や自転車の安全な通行は、現在の評価が低い

経済・産業



現在の状況

■ あてはまる

■ あてはまらない

■ 不詳

将来(10年後)の姿

■ 重要だ

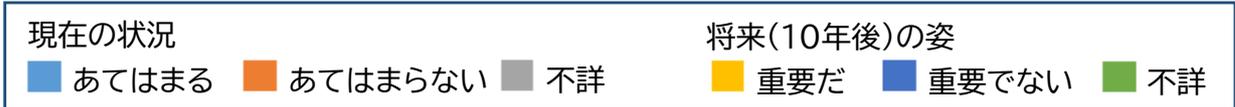
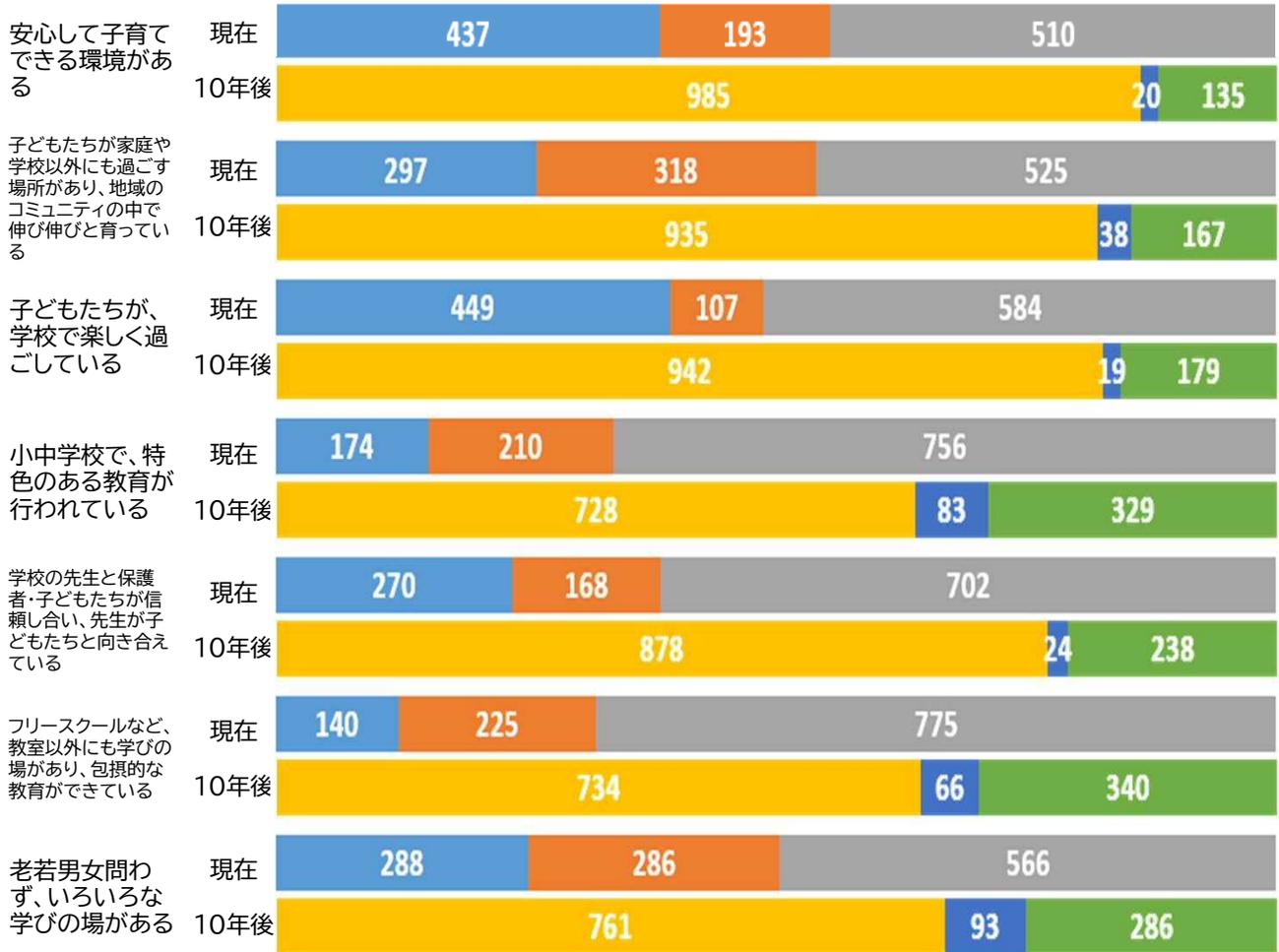
■ 重要でない

■ 不詳

【傾向】

- ・すべての項目で、現在の評価がかなり低く、かつ不詳も多い
- ・産業や雇用への将来(10年後)の重要度は高いが、繊維に限っては低めの値となっている

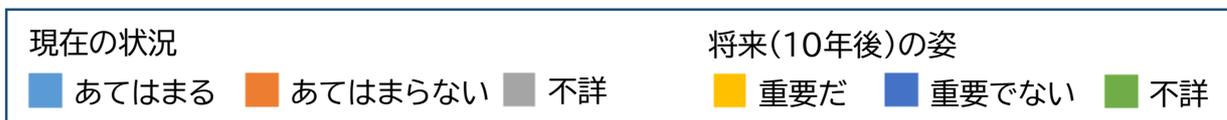
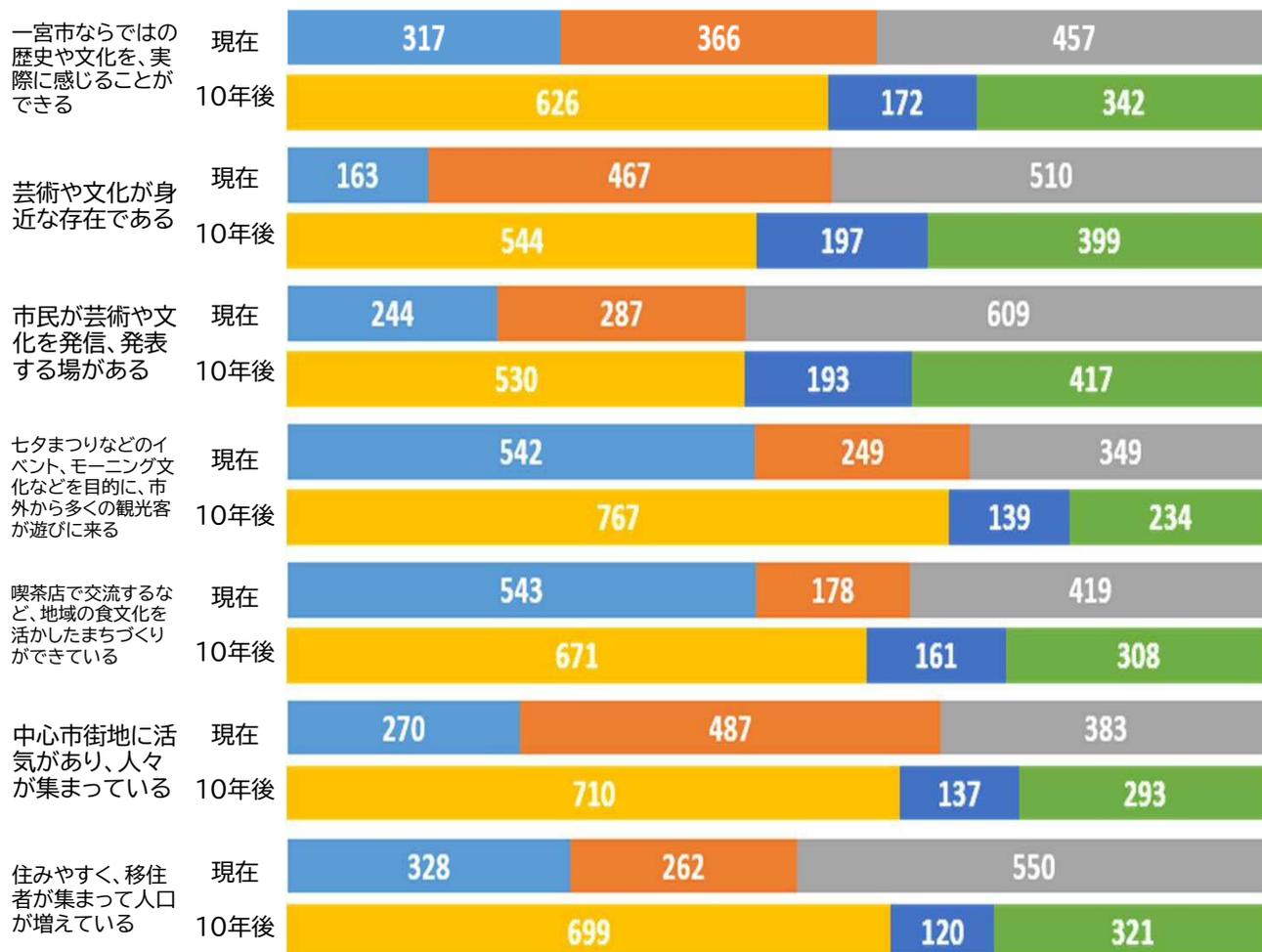
子育て・教育



【傾向】

- ・いずれの項目も、現在の評価は高くないが、将来(10年後)の重要度は高い
- ・学校に対する現在の評価は、不詳が多い

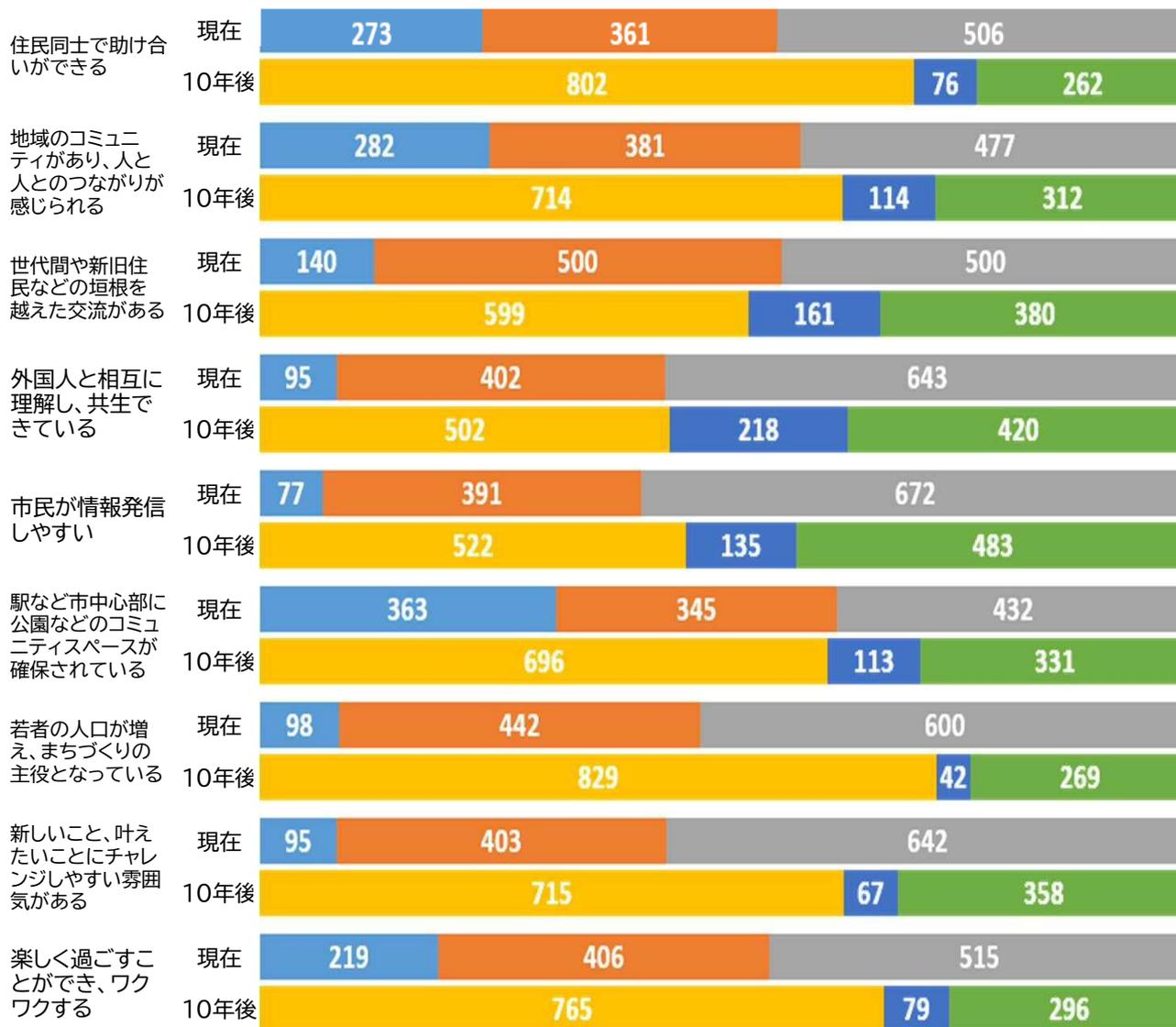
文化・まちのにぎわい



【傾向】

- ・七夕やモーニングは、他項目と比較して、高めの評価となっている
- ・芸術や文化に対しては、将来(10年後)の重要度もあまり高くない

市民活動・コミュニティ



現在の状況

■ あてはまる

■ あてはまらない

■ 不詳

将来(10年後)の姿

■ 重要だ

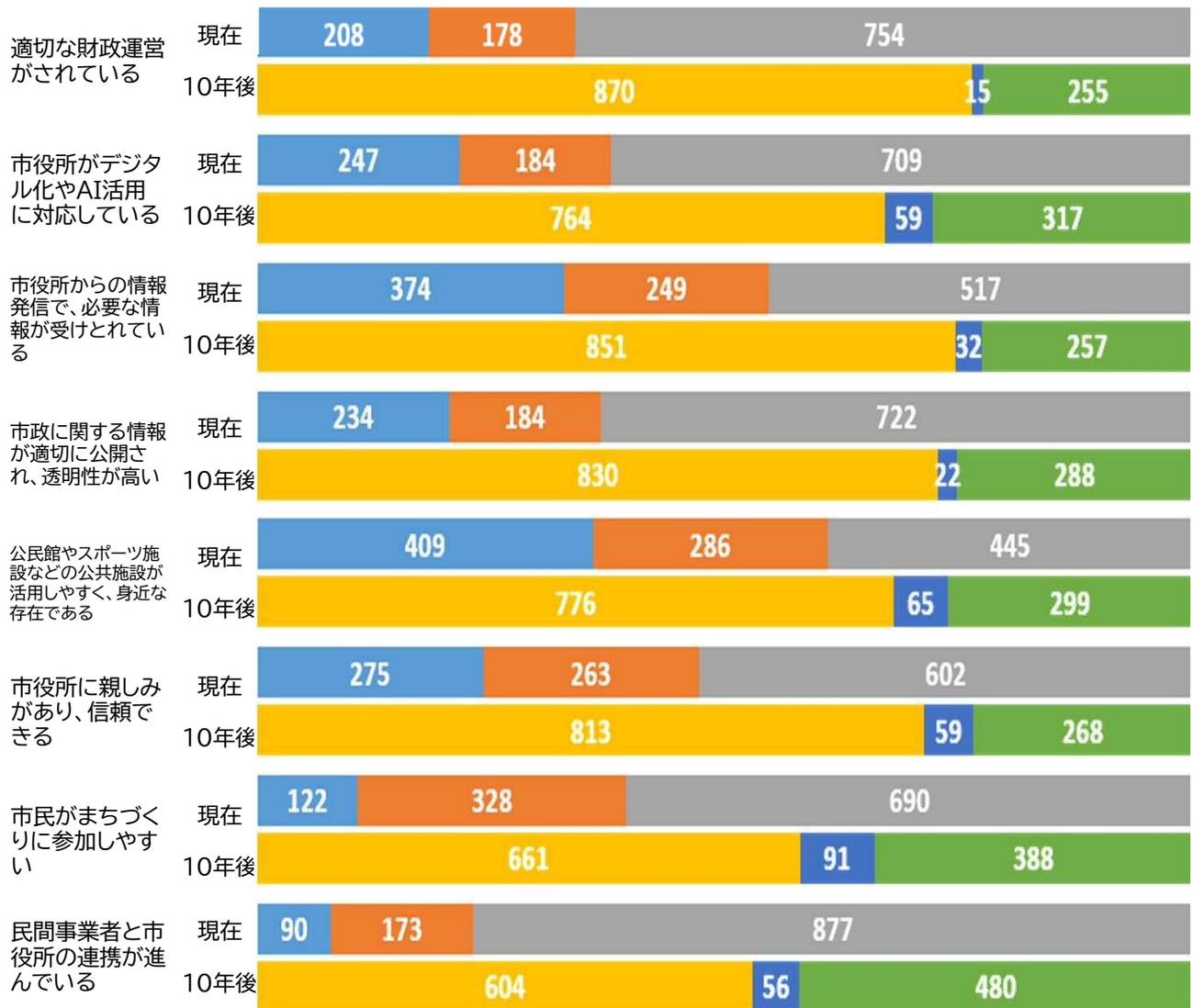
■ 重要でない

■ 不詳

【傾向】

- ・全体的に、現在の評価が低く、不詳が多い
- ・コミュニティやつながりに対する将来(10年後)の重要度は高めである

市役所・公民連携



現在の状況

■ あてはまる ■ あてはまらない ■ 不詳

将来(10年後)の姿

■ 重要だ ■ 重要でない ■ 不詳

【傾向】

- ・全体的に、現在の評価が低く、不詳が多い
- ・市経営・運営については、将来(10年後)の重度が高めであるが、それらと比較すると、「民」との取り組みに対する将来の重要度は低めである

10. 年齢や、居住の経緯による「まちの姿」の違い

69のまちの姿について、年齢別、居住の経緯×男女別の区分によって違いがあるかを調べた。

【年齢区分】

10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上

【居住の経緯×男女別】

一宮市内のみ住んだことがある男性 一宮市内のみ住んだことがある女性
 一宮市外にも住んだことがある男性 一宮市外にも住んだことがある女性

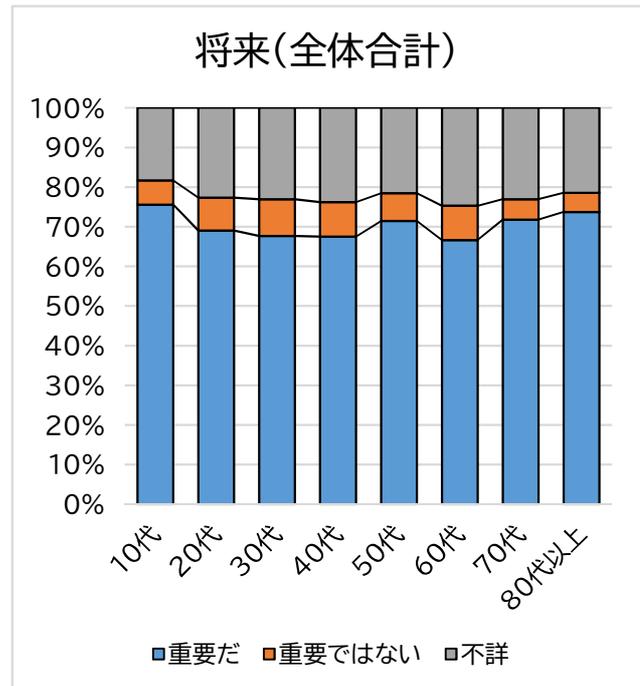
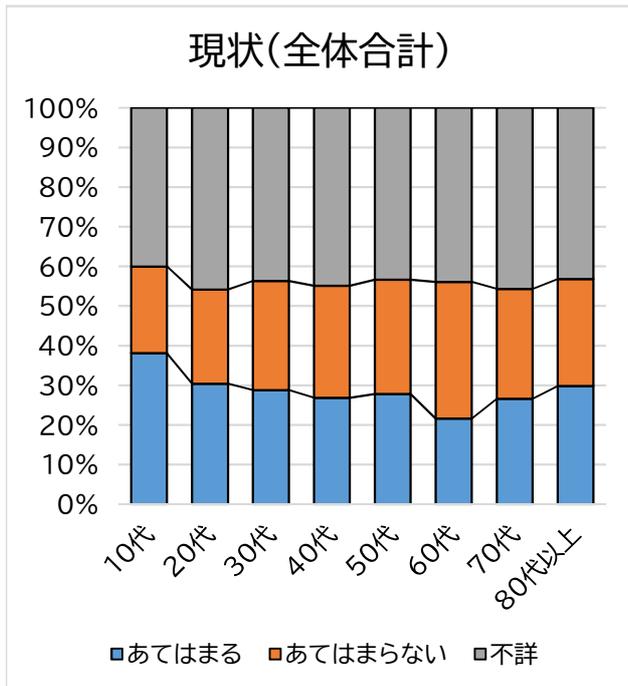
これらの区分により、特徴的な傾向を示したものの例を示す。

10-1. 年齢区分によるもの

●現在「あてはまる」比率が、60代で最も低くなるもの

高齢者が安心して暮らせる	10 〜 30 代の「あてはまる」比率が高い
気軽にスポーツができ、健康づくりに役立っている	
カラスやアライグマなどの鳥獣害対策がされている	
環境学習など、地球環境について考える機会がある	
コミュニティバスなど、市内を公共交通で行き来しやすい	
歩行者の通行スペースが整備され、安全に通ることができる	
既存の道路や橋などのメンテナンスや改良がきちんと行われている	
都市計画に基づき、魅力あるまちづくり(開発)が行われている	
商店など生活施設がコンパクトに集積し、暮らしやすい	
起業や企業誘致によって、新しい産業が生まれている	
市内の雇用環境が充実している	
七夕まつりなどのイベント、モーニング文化などを目的に、市外から多くの観光客が遊びに来る	
喫茶店で交流するなど、地域の食文化を活かしたまちづくりができている	
市民が情報発信しやすい	
駅など市中心部に公園などのコミュニティスペースが確保されている	
若者の人口が増え、まちづくりの主角となっている	
新しいこと、叶えたいことにチャレンジしやすい雰囲気がある	
楽しく過ごすことができ、ワクワクする	
市役所がデジタル化やAI活用に対応している	
公民館やスポーツ施設などの公共施設が活用しやすく、身近な存在である	
木曽川などで親水レクリエーションが楽しめ、水辺と親しみがある	
住宅を買ったり、建てたりしやすい	
災害への備え、対策ができている	
子どもたちが、学校で楽しく過ごしている	
学校の先生と保護者・子どもたちが信頼し合い、先生が子どもたちと向き合っている	

- ・年齢別で、60代が最も低くなっているものは3分の1以上に上る
- ・逆に、60代が上位となっているものはほとんどなく、次頁のとおり60代の現在評価は全体を通じて低めであり、他の年齢と比べて「あてはまらない」の比率がかなり高い



●当事者の世代か否かで現在の「不詳」の割合に差があると思われるもの

医療が充実し、適切な医療サービスが受けられる
住宅を買ったり、建てたりしやすい
市内の雇用環境が充実している
安心して子育てできる環境がある
子どもたちが家庭や学校以外にも過ごす場所があり、地域のコミュニティの中で伸び伸びと育っている
子どもたちが、学校で楽しく過ごしている
小中学校で、特色のある教育が行われている
学校の先生と保護者・子どもたちが信頼し合い、先生が子どもたちと向き合っている
フリースクールなど、教室以外にも学びの場があり、包摂的な教育ができている

●当事者の世代か否かで将来(10年後)の「不詳」の割合に差があると思われるもの

高齢者が安心して暮らせる
自分や身近な人が、安心して介護を受けられる
障害のある・なしにかかわらず、暮らしやすい
健康づくりを意識し、健康に過ごすことができる
コミュニティバスなど、市内を公共交通で行き来しやすい
学校の先生と保護者・子どもたちが信頼し合い、先生が子どもたちと向き合っている
フリースクールなど、教室以外にも学びの場があり、包摂的な教育ができている
市役所がデジタル化やAI活用に対応している

- ・医療、福祉やコミュニティバスでは、親世代や自分自身が近々に当事者となりうる50～70代で「不詳」の割合が低く、それまでまだ時間的猶予のある若年層で割合が高い傾向にある。
- ・雇用では、ほとんどが学生の10代で割合が高い。
- ・子育て、教育では、現役子育て世代の40代と、当事者世代に最も近い10代で割合が低く、それ以外の年代で総じて割合が高い。

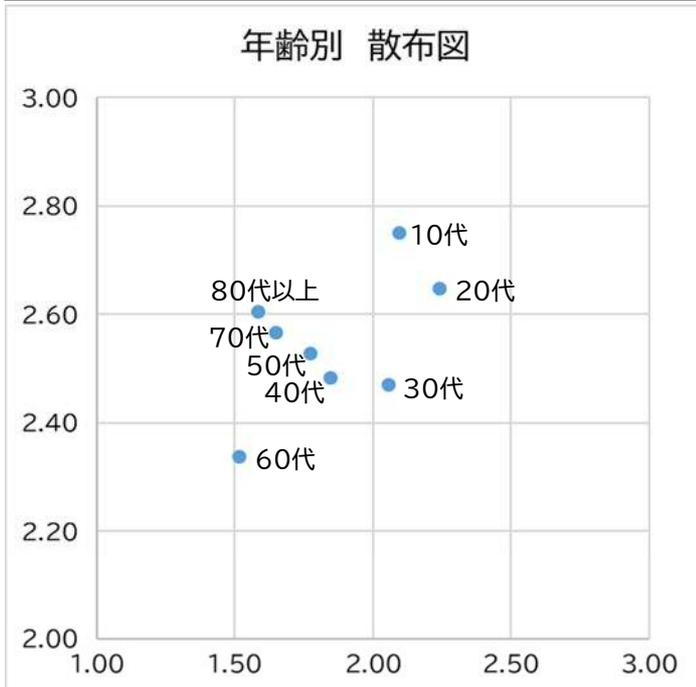
●中高年において将来(10年後)「重要だ」の比率が高いもの

高齢者が安心して暮らせる
自分や身近な人が、安心して介護を受けられる
緑が豊かで、自然を身近に感じられる
木曽川などで親水レクリエーションが楽しめ、水辺と親しみがある
人と動物が共生できている
自転車の通行スペースが整備され、安全に通ることができる
まち全体で、DXやAIなど先進技術を活用する場面が増えている
芸術や文化が身近な存在である
市民が芸術や文化を発信、発表する場がある
地域のコミュニティがあり、人と人とのつながりが感じられる
世代間や新旧住民などの垣根を越えた交流がある
外国人と相互に理解し、共生できている
市民が情報発信しやすい

- ・主に70代で「重要だ」の比率が高い
- ・福祉やくらしの環境、コミュニティなど身近な生活に関する項目が多い

●年齢別区分で、特徴的なもの

中心市街地に活気があり、人々が集まっている

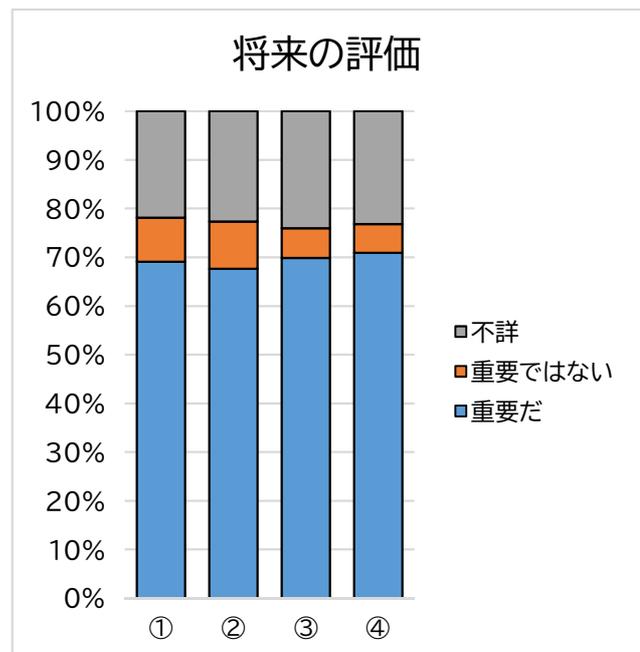
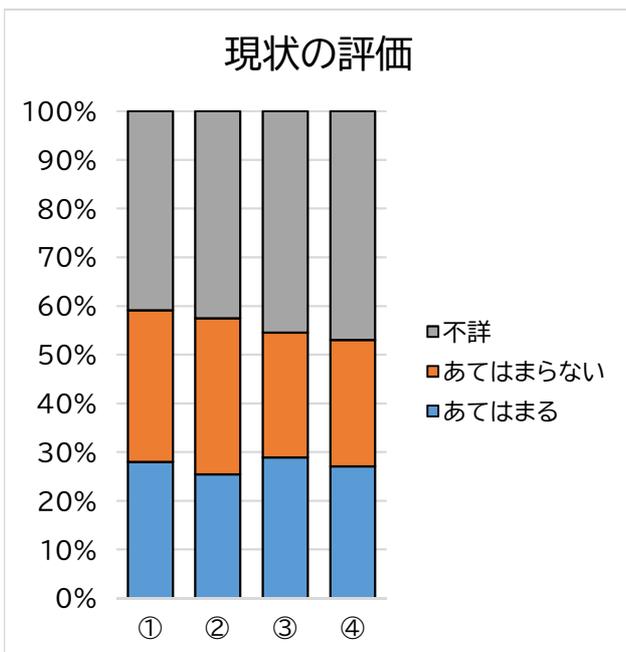


	現在のスコア	将来のスコア
10代	2.09	2.75
20代	2.24	2.65
30代	2.05	2.47
40代	1.85	2.48
50代	1.77	2.53
60代	1.51	2.34
70代	1.65	2.57
80代以上	1.58	2.60

- ・年齢で区切り、ここまでばらつきが生じた項目は、これが唯一である

10-2. 居住の経緯×男女別の区分によるもの

- ・現在の評価は、「一宮市内のみ住んだことがある人」と「一宮市外にも住んだことがある人」では、前者の方が「あてはまる」が多く、「あてはまらない」と「不詳」が少ない
- ・男女別では、男性の方が「あてはまらない」が多く、「あてはまる」と「不詳」が少ない
- ・将来の評価も概ね同様であるが、女性では現状の評価とは逆に「一宮市外にも住んだことがある人」の方が「重要だ」が多く、「重要ではない」と「不詳」が少ない



- ① 一宮市内のみ住んだことがある男性
- ② 一宮市外にも住んだことがある男性
- ③ 一宮市内のみ住んだことがある女性
- ④ 一宮市外にも住んだことがある女性

●全体的な傾向と異なるもの

- ・「③ 一宮市内のみ住んだことがある女性」より、「④ 一宮市外にも住んだことがある女性」が現在の「不詳」の割合が低いもの

市役所がデジタル化やAI活用に対応している

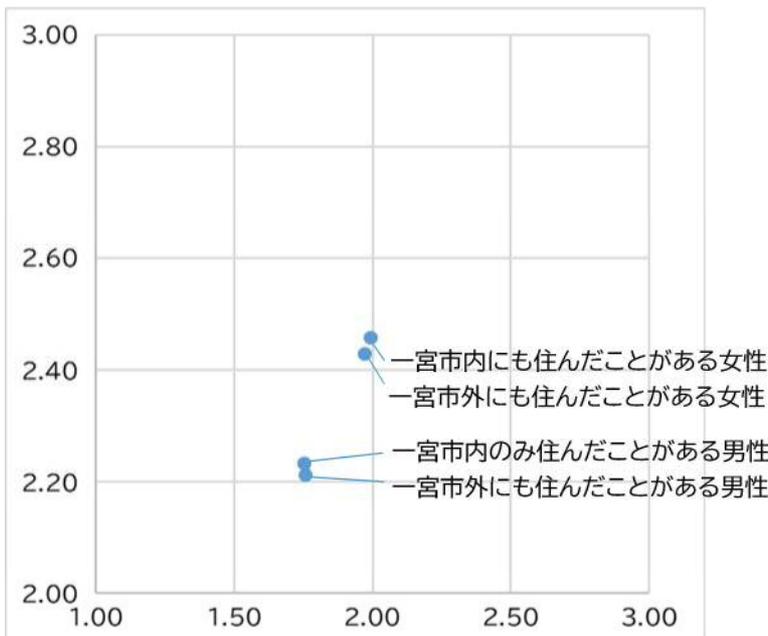
市役所からの情報発信で、必要な情報が受けとれている

- ・「③ 一宮市内のみ住んだことがある女性」より、「④ 一宮市外にも住んだことがある女性」が将来の「不詳」の割合が低いもの

フリースクールなど、教室以外にも学びの場があり、包摂的な教育ができている

●居住の経緯×男女別で、特徴的なもの

繊維産業を活かし、新たな取り組みが進んでいる



- ・居住の経緯ではほとんど差が出ず、男女間で大きな差が出た

コミュニティバスなど、市内を公共交通で行き来しやすい

- ・現在の評価は、「一宮市内のみ住んだことがある男性」が「あてはまる」の比率が高く、「一宮市外にも住んだことがある男性」は低かった一方で、女性では顕著な差はなかった
- ・将来の評価は、「一宮市内のみ住んだことがある女性」が他のどの分類と比べても「重要だ」の比率が高くなった

まち全体で、DXやAIなど先進技術を活用する場面が増えている

- ・現状、将来(10年後)とも、男性に比べ女性の「不詳」の割合が高かった

10-3. 年齢、居住の経緯×男女別で見ると特段の差がないもの

空き家の対策が進んでいる
防犯への取り組みが進み、安心して暮らせる
市民が食や農業に触れ、考える機会がある
老若男女問わず、いろいろな学びの場がある
住みやすく、移住者が集まって人口が増えている
市役所に親しみがあり、信頼できる

・この6つは、年代別や居住の経緯別、男女別で大きな差が見られず、属性に左右されにくい普遍的な事柄と言える

11. アンケート用紙

※インターネット入力フォームで行ったものを、書き起こしたものである。

アンケートの趣旨について

一宮市では、市政運営の最上位計画である「総合計画」の次期計画(2028～2037 年度)の策定を予定しています。それに先立ち、市民のみなさまが一宮のまちにどんなイメージを持っていてどんなまちになってほしいと願っているか、またそれらに居住エリアや年代等による差はあるのか等を多面的に分析するため、このアンケートを実施します。

このアンケートは、18 歳以上の市民から 4,000 人を無作為に抽出しお送りしています。回答は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。

Q1.性別、年齢をお答えください。

性別

- 男性
- 女性
- その他
- 回答しない

年齢

- 10 代
- 20 代
- 30 代
- 40 代
- 50 代
- 60 代
- 70 代
- 80 代以上
- 回答しない

Q2. お住まいのエリアをお答えください。(下の図をご参照ください)

居住地

- ① 本庁エリア(宮西・貴船・神山・大志・向山・富士)
- ② 葉栗
- ③ 西成
- ④ 丹陽町
- ⑤ 浅井町
- ⑥ 北方町
- ⑦ 大和町
- ⑧ 今伊勢町
- ⑨ 奥町
- ⑩ 萩原町
- ⑪ 千秋町
- ⑫ 尾西エリア
- ⑬ 木曾川町
- ⑭ エリアはわからない



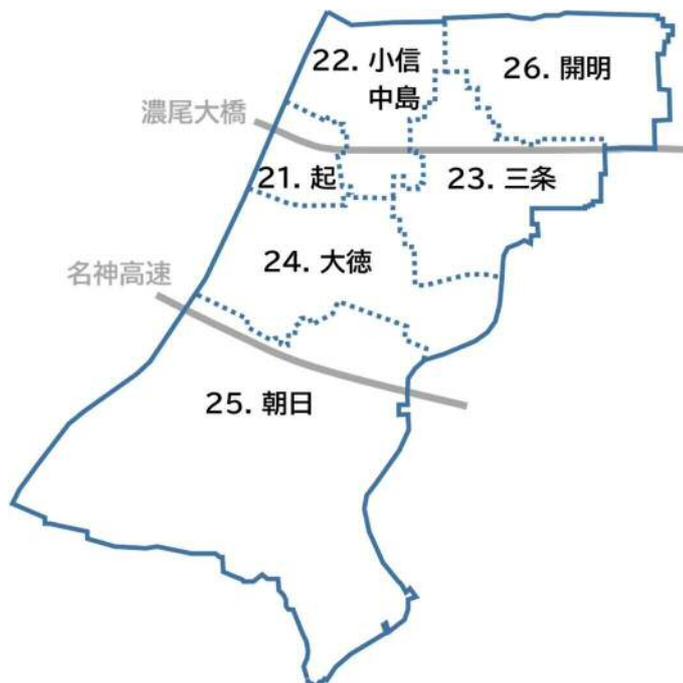
Q2.で、「① 本庁エリア(宮西・貴船・神山・大志・向山・富士)」をご選択いただいた方にお尋ねします。お住まいの連区をお答えください。(下の図をご参照ください)

- 1.宮西連区
- 2.貴船連区
- 3.神山連区
- 4.大志連区
- 5.向山連区
- 6.富士連区
- 7.連区まではわからない



Q2.で、「⑫ 尾西エリア」をご選択いただいた方にお尋ねします。お住まいの連区をお答えください。(下の図をご参照ください)

- 21. 起連区
- 22. 小信中島連区
- 23. 三条連区
- 24. 大徳連区
- 25. 朝日連区
- 26. 開明連区
- 27. 連区まではわからない



Q3.現在、一宮市に住むようになったきっかけをご選択ください。

市外に住んだことがない方は「生まれたときから」を、市外に住んだことがある方は一宮市に転入することになったできごとをご選択ください。

- 生まれたときから
- 保護者が市内に住むことにしたので
- 進学を機に
- 就職・転職を機に(通勤のしやすさ)
- 結婚・出産などのライフイベントを機に
- 市内に住宅を購入したので
- 退職を機に
- 親・親族の介護等を機に
- その他

Q4. あなたの現在の就労・就学状況についてお答えください。

- 〇 仕事をしている
- 〇 就学している
- 〇 いずれでもない

▶ Q5.あなたが普段、就労・就学している場所をお答えください。

- 〇 一宮市内
- 〇 名古屋市内
- 〇 上記以外の愛知県内、または岐阜県内
- 〇 それ以外の都道府県

▶ Q6.あなたが休日に、よく過ごしている場所をお答えください。
(複数選択可)

- 一宮市内
- 名古屋市内
- 上記以外の愛知県内、または岐阜県内
- それ以外の都道府県

Q7.あなたが普段、よく過ごしている場所をお答えください。(複数選択可)

- 一宮市内
- 名古屋市内
- 上記以外の愛知県内、または岐阜県内
- それ以外の都道府県

Q8.あなたが普段、食料品以外の買い物(被服や日用雑貨など)をよくする
お店がある場所をお答えください。(複数選択可)

- 一宮市内
- 名古屋市内
- 上記以外の愛知県内、または岐阜県内
- それ以外の都道府県

Q9.あなたが「一宮市といえば」ときかれて思い浮かべるものをすべてお選びください。

- 尾州ブランド(世界三大毛織物産地の一つ)
- 木曽川(一級河川の清流)
- モーニング文化
- セタまつり(日本三大七夕祭の一つ)
- ツインアーチ 138
- いちみん(市公式キャラクター)
- 一宮駅(i-ビル、イチ*ビル、鉄道線など)
- 真清田神社(尾張国の一の宮)
- 思い浮かべるものはない
- その他(自由記入: _____)

Q10.Q9 で選んだ中で、特に「一宮市といえばこれ!」と思うものを一つだけお書きください。

(自由記入: _____)

Q11.あなたは、一宮市にどのくらい愛着がありますか。

- とても愛着がある
- ある程度、愛着はある
- あまり愛着はない
- ほとんど愛着を感じない

ここからは、さまざまな「まちの姿」について、あなたが感じていることをお尋ねします。

この調査に先立ち、「市民が考える 10 年後の一宮市の望ましい姿」について、市民参加ワークショップとウェブで調査しました。

その結果、398 の意見が出されましたので、意見の趣旨を考慮しながら 69 にまとめました。

その 69 の「まちの姿」について、「現在の一宮市」と「2037 年やその先の一宮市」の二つの視点でお尋ねします。

あなたの体感や考えに最も近いものをお選びください。

Q12-1.医療・福祉・健康に関する分野

1.医療が充実し、適切な医療サービスが受けられる

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

2.高齢者が安心して暮らせる

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

3.自分や身近な人が、安心して介護を受けられる

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

4.障害のある・なしにかかわらず、暮らしやすい

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

5.健康づくりを意識し、健康に過ごすことができる

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

6.気軽にスポーツができ、健康づくりに役立っている

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

Q12-2.暮らしの環境・安全・安心に関する分野

7.緑が豊かで、自然を身近に感じられる

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

8.木曾川などで親水レクリエーションが楽しめ、水辺と親しみがある

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

9.公園など、憩いの場・人々が集まれる場が身近にある

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

10.人と動物が共生できている

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

11.ごみ収集が適切に行われている

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

12.公害対策が進んでいる

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

13.程よく都会で程よく田舎(トカイナカ)である

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

14.住宅を買ったり、建てたりしやすい

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

15.空き家の対策が進んでいる

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

16.カラスやアライグマなどの鳥獣害対策がされている

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

17.環境学習など、地球環境について考える機会がある

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

18.災害への備え、対策ができています

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

19.防犯への取組みが進み、安心して暮らせる

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

20.みんなが交通ルールを守り、歩行者や自転車をはじめ交通事故の危険が少ない

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

Q12-3.インフラ・交通・道路に関する分野に関する分野

21.鉄道網など、他市と行き来する公共交通が便利だ

- | 現在の一宮市での暮らし | 2037年やその先の一宮市の姿として |
|--|--|
| <input type="radio"/> あてはまる・ややあてはまる | <input type="radio"/> 重要だ・やや重要だ |
| <input type="radio"/> あてはまらない・あまりあてはまらない | <input type="radio"/> 重要ではない・あまり重要ではない |
| <input type="radio"/> どちらともいえない・わからない | <input type="radio"/> どちらともいえない・わからない |

22.コミュニティバスなど、市内を公共交通で行き来しやすい

- | 現在の一宮市での暮らし | 2037年やその先の一宮市の姿として |
|--|--|
| <input type="radio"/> あてはまる・ややあてはまる | <input type="radio"/> 重要だ・やや重要だ |
| <input type="radio"/> あてはまらない・あまりあてはまらない | <input type="radio"/> 重要ではない・あまり重要ではない |
| <input type="radio"/> どちらともいえない・わからない | <input type="radio"/> どちらともいえない・わからない |

23.自動運転やデマンド型交通、ライドシェアなど、新しい移動手段がある

- | 現在の一宮市での暮らし | 2037年やその先の一宮市の姿として |
|--|--|
| <input type="radio"/> あてはまる・ややあてはまる | <input type="radio"/> 重要だ・やや重要だ |
| <input type="radio"/> あてはまらない・あまりあてはまらない | <input type="radio"/> 重要ではない・あまり重要ではない |
| <input type="radio"/> どちらともいえない・わからない | <input type="radio"/> どちらともいえない・わからない |

24.歩行者の通行スペースが整備され、安全に通ることができる

- | 現在の一宮市での暮らし | 2037年やその先の一宮市の姿として |
|--|--|
| <input type="radio"/> あてはまる・ややあてはまる | <input type="radio"/> 重要だ・やや重要だ |
| <input type="radio"/> あてはまらない・あまりあてはまらない | <input type="radio"/> 重要ではない・あまり重要ではない |
| <input type="radio"/> どちらともいえない・わからない | <input type="radio"/> どちらともいえない・わからない |

25.自転車の通行スペースが整備され、安全に通ることができる

- | 現在の一宮市での暮らし | 2037年やその先の一宮市の姿として |
|--|--|
| <input type="radio"/> あてはまる・ややあてはまる | <input type="radio"/> 重要だ・やや重要だ |
| <input type="radio"/> あてはまらない・あまりあてはまらない | <input type="radio"/> 重要ではない・あまり重要ではない |
| <input type="radio"/> どちらともいえない・わからない | <input type="radio"/> どちらともいえない・わからない |

26.既存の道路や橋などのメンテナンスや改良がきちんと行われている

- | 現在の一宮市での暮らし | 2037年やその先の一宮市の姿として |
|--|--|
| <input type="radio"/> あてはまる・ややあてはまる | <input type="radio"/> 重要だ・やや重要だ |
| <input type="radio"/> あてはまらない・あまりあてはまらない | <input type="radio"/> 重要ではない・あまり重要ではない |
| <input type="radio"/> どちらともいえない・わからない | <input type="radio"/> どちらともいえない・わからない |

27.自動車で走りやすい幹線道路などが整備され、まちづくりに活用されている

- | 現在の一宮市での暮らし | 2037年やその先の一宮市の姿として |
|--|--|
| <input type="radio"/> あてはまる・ややあてはまる | <input type="radio"/> 重要だ・やや重要だ |
| <input type="radio"/> あてはまらない・あまりあてはまらない | <input type="radio"/> 重要ではない・あまり重要ではない |
| <input type="radio"/> どちらともいえない・わからない | <input type="radio"/> どちらともいえない・わからない |

28.都市計画に基づき、魅力あるまちづくり(開発)が行われている

- | 現在の一宮市での暮らし | 2037年やその先の一宮市の姿として |
|--|--|
| <input type="radio"/> あてはまる・ややあてはまる | <input type="radio"/> 重要だ・やや重要だ |
| <input type="radio"/> あてはまらない・あまりあてはまらない | <input type="radio"/> 重要ではない・あまり重要ではない |
| <input type="radio"/> どちらともいえない・わからない | <input type="radio"/> どちらともいえない・わからない |

29.商店など生活施設がコンパクトに集積し、暮らしやすい

- | 現在の一宮市での暮らし | 2037年やその先の一宮市の姿として |
|--|--|
| <input type="radio"/> あてはまる・ややあてはまる | <input type="radio"/> 重要だ・やや重要だ |
| <input type="radio"/> あてはまらない・あまりあてはまらない | <input type="radio"/> 重要ではない・あまり重要ではない |
| <input type="radio"/> どちらともいえない・わからない | <input type="radio"/> どちらともいえない・わからない |

Q12-4.経済・産業に関する分野

30.起業や企業誘致によって、新しい産業が生まれている

- | 現在の一宮市での暮らし | 2037年やその先の一宮市の姿として |
|--|--|
| <input type="radio"/> あてはまる・ややあてはまる | <input type="radio"/> 重要だ・やや重要だ |
| <input type="radio"/> あてはまらない・あまりあてはまらない | <input type="radio"/> 重要ではない・あまり重要ではない |
| <input type="radio"/> どちらともいえない・わからない | <input type="radio"/> どちらともいえない・わからない |

31.魅力ある地域産業が育っている

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

32.繊維産業を活かし、新たな取り組みが進んでいる

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

33.まち全体で、DXやAIなど先進技術を活用する場面が増えている

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

34.地域内で経済が循環している

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

35.市内の雇用環境が充実している

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

36.労働者が守られ、年齢や性別などによらずだれもが働きやすい

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

37.市民が食や農業に触れ、考える機会がある

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

38.持続可能な農業ができており、地産地消が進んでいる

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

Q12-5.子育て・教育に関する分野

39.安心して子育てできる環境がある

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

40.子どもたちが家庭や学校以外にも過ごす場所があり、地域のコミュニティの中で伸び伸びと育っている

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

41.子どもたちが、学校で楽しく過ごしている

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

42.小中学校で、特色のある教育が行われている

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

43.学校の先生と保護者・子どもたちが信頼し合い、先生が子どもたちと向き合っている

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

44.フリースクールなど、教室以外にも学びの場があり、包摂的な教育ができている

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

45.老若男女問わず、いろいろな学びの場がある

Q12-6.文化・まちのにぎわいに関する分野

46.一宮市ならではの歴史や文化を、実際に感じることができる

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

47.芸術や文化が身近な存在である

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

48.市民が芸術や文化を発信、発表する場がある

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

49.七夕まつりなどのイベント、モーニング文化などを目的に、市外から多くの観光客が遊びに来る

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

50.喫茶店で交流するなど、地域の食文化を活かしたまちづくりができています

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

51.中心市街地に活気があり、人々が集まっている

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

52.住みやすく、移住者が集まって人口が増えている

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

Q12-7.市民活動・コミュニティに関する分野

53.住民同士で助け合いができる

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

54.地域のコミュニティがあり、人と人とのつながりが感じられる

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

55.世代間や新旧住民などの垣根を越えた交流がある

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

56.外国人と相互に理解し、共生できている

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

57.市民が情報発信しやすい

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

58.駅など市中心部に公園などのコミュニティスペースが確保されている

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

59.若者の人口が増え、まちづくりの主角となっている

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

60.新しいこと、叶えたいことにチャレンジしやすい雰囲気がある

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

61.楽しく過ごすことができ、ワクワクする

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

Q12-8.市役所・公民連携に関する分野

62.適切な財政運営がされている

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

63.市役所がデジタル化やAI活用に対応している

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

64.市役所からの情報発信で、必要な情報が受けとれている

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

65.市政に関する情報が適切に公開され、透明性が高い

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

66.公民館やスポーツ施設などの公共施設が活用しやすく、身近な存在である

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

67.市役所に親しみがあり、信頼できる

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

68.市民がまちづくりに参加しやすい

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない

69.民間事業者と市役所の連携が進んでいる

現在の一宮市での暮らし

- あてはまる・ややあてはまる
- あてはまらない・あまりあてはまらない
- どちらともいえない・わからない

2037年やその先の一宮市の姿として

- 重要だ・やや重要だ
- 重要ではない・あまり重要ではない
- どちらともいえない・わからない